

公益財団法人せたがや文化財団における令和7年度事業について

1. 事業計画

世田谷文化生活情報センター / 生活工房		世田谷文化生活情報センター / 音楽事業部	
PART OF THE ANIMAL—動物と人間のあいだ—	(1月21日)～ 4月20日	シリーズ和・華・調	4月19日
ヘアカラー展 なぜ染める、なぜ染まる。	4月29日～ 8月11日	台湾高雄市交流演奏会	7月29日
昭和の子ども文化 —資料が語る・戦争と平和の子どもの くらしと遊び(仮)	8月19日～ 12月28日	せたがや音楽研究所	8月24日
三角地帯の現在・過去・未来(仮)	8年1月～4月	室内楽シリーズ	4月4日、 7月6日、 10月18日
(常設展示)「生活工房アレコレ」ほか	通年	せたがやジュニアオーケストラ	通年
「日常を見限らないvol.5」味覚のワークショップ、 連携企画セミナーほか		せたがやまちかど・まちなかコンサート、 連携コンサートほか	
世田谷文化生活情報センター / 世田谷パブリックシアター			
上村聡史演出作品 『みんな鳥になって』	6～8月	リーディング公演『不可能の限りにおいて』	8月
芸術監督企画 『シンダールタ』	11月18日～ 12月27日	海外招聘ダンス ピーピング・トム 新作公演	9月～10月
杉原邦生演出作品 『黒百合』	8年2月	フリーステージ(音楽部門・ダンス部門・世田谷クラシックバレエ連盟)、移動劇場『あつとホーム公演』、学校のためのワークショップ、せたがやアートファーム『キャプテン・アメイジング』『せたがや夏いちらくご』、アロフト・サーカス・アーツ『プレイブ・スペース』ほか	
瀬戸山美咲演出 『コーカサスの白墨の輪』	8年3月11日～ 29日		
世田谷文化生活情報センター / 国際事業部			
せたがや国際交流センターの運営	通年	多文化理解講座	7回
まち歩き	2回	外国人のための日本語教室	5期 (各20回)
にほんご交流会	5回	せたがや日本語サポーター講座	2期 (各5回)
世田谷美術館		世田谷文学館	
世田谷美術館コレクション選 緑の惑星——セタビの森の植物たち	(2月27日)～ 4月13日	士郎正宗の世界展 ～「攻殻機動隊」と創造の軌跡～	4月12日～ 8月17日
「横尾忠則 連画の河」展	4月26日～ 6月22日	開館30周年記念事業「セタブン30祭」	8月30日～ 11月9日
「野町和嘉——人間の大地」展	7月5日～ 8月31日	ドナルド・キーン展(仮称)	11月15日～ 8年3月8日
「自然と魂 利根山光人の旅 ——異文化にみた畏敬と創造」展	9月13日～ 11月9日	クシオン展前期 海野十三と日本SF	4月26日～ 9月28日
「つぐ minä perhonen」展	11月22日～ 8年2月1日	コレクション展後期 世田谷線・100年間のものがたり(仮)	10月18日～ 8年3月31日
本館ミュージアム コレクション(前年度からの継続含め年4回)、各分館収蔵品展(年2回)	通年	ライブラリー「ほんとう」の運営 「ほんとうラジオ」放送(エフエム世田谷)	通年
講座・ワークショップ、鑑賞教室ほか		どこでも文学館(出張展示、ワークショップなどの教育普及事業)	通年
		ワークショップ、トークイベント、オンラインイベントほか	

※事業名称及び開催日程は最新の情報を掲載しているため、事業計画書の内容と異なる場合があります。

2 収支予算内訳表(損益計算書ベース)

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計			法人会計	内部取引 等消去	合計
	公1	公2	小計	収1	収2	小計			
	文化芸術の振興、 地域文化創造活動 の支援及び教育普 及に関する事業	市民活動の支援 及び 振興に関する事業		物品販売事業	飲食物提供事業				
I 一般正味財産の部									
1 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	2,509,000		2,509,000
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	1,261,000		1,261,000
事業収益	1,839,472,000	463,000	1,839,935,000	46,037,000	3,238,000	49,275,000	0		1,889,210,000
受取区補助金	1,289,476,000	53,258,000	1,342,734,000	0	0	0	138,009,000		1,480,743,000
受取助成金等	193,369,000	1,289,000	194,658,000	0	0	0	0		194,658,000
受取寄附金等	850,000	0	850,000	0	0	0	0		850,000
受取負担金	7,152,000	0	7,152,000	336,000	7,610,000	7,946,000	0		15,098,000
雑収益	0	0	0	0	0	0	147,000		147,000
経常収益計(A)	3,330,319,000	55,010,000	3,385,329,000	46,373,000	10,848,000	57,221,000	141,926,000		3,584,476,000
(2) 経常費用									
事業費	3,395,414,000	55,028,000	3,450,442,000	45,072,000	8,603,000	53,675,000			3,504,117,000
管理費							154,365,000		154,365,000
経常費用計(B)	3,395,414,000	55,028,000	3,450,442,000	45,072,000	8,603,000	53,675,000	154,365,000		3,658,482,000
他会計振替前当期一般正味財産増減額(C)	△ 65,095,000	△ 18,000	△ 65,113,000	1,301,000	2,245,000	3,546,000	△ 12,439,000		△ 74,006,000
他会計振替額(D)	590,742	0	590,742	△ 216,743	△ 373,999	△ 590,742	0		0
法人税、都民税及び事業税(E)	0	0	0	325,277	561,300	886,577	0		886,577
当期一般正味財産増減額(F)=(C)+(D)-(E)	△ 64,504,258	△ 18,000	△ 64,522,258	758,980	1,309,701	2,068,681	△ 12,439,000		△ 74,892,577
一般正味財産期首残高(G)	605,233,763	27,756,931	632,990,694	144,386,310	17,108,450	161,494,760	△ 9,648,444		784,837,010
一般正味財産期末残高(H)=(F)+(G)	540,729,505	27,738,931	568,468,436	145,145,290	18,418,151	163,563,441	△ 22,087,444		709,944,433
II 指定正味財産の部									
当期指定正味財産増減額(I)	0	0	0	0	0	0	0		0
指定正味財産期首残高(J)	8,790,978	0	8,790,978	0	0	0	800,000,000		808,790,978
指定正味財産期末残高(K)=(I)+(J)	8,790,978	0	8,790,978	0	0	0	800,000,000		808,790,978
III 正味財産期末残高(L)=(H)+(K)	549,520,483	27,738,931	577,259,414	145,145,290	18,418,151	163,563,441	777,912,556		1,518,735,411

令和7年度

公益財団法人せたがや文化財団

事業計画書

収支予算書

その他の付属書類

公益財団法人 せたがや文化財団

目 次

(事業計画書)

1. 令和7年度事業方針	1
2. 事業の体系	6
3. 事業計画	
(1) 世田谷文化生活情報センター生活工房	16
(2) 世田谷文化生活情報センター世田谷パブリックシアター	19
(3) 世田谷文化生活情報センター音楽事業部(せたおん)	26
(4) 世田谷文化生活情報センター国際事業部	28
(5) 世田谷美術館	30
(6) 世田谷文学館	35
(7) 財団共通	38

(収支予算書)

1. 収支予算(損益計算書ベース)	42
2. 収支予算内訳表(損益計算書ベース)	44

(その他の付属書類)

資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類	51
-----------------------	----

事業計画書

1. 令和7年度事業方針

令和7年度の歳入について、区は、ふるさと納税による減収を見込む一方で、賃金上昇等に伴う増収や国の定額減税の終了に伴う増、特別区交付金の増などを見込み、当初予算全体の規模としては4.9%の増としました。こうした状況を受け、せたがや文化財団の令和7年度収支予算につきましても、経常収益が前年度比約17.1%（約5億2千4百万円）の増、また、経常費用が前年度比約17.4%（約5億4千2百万円）の増となっています。

世田谷区美術振興財団として設立されて以来、令和7年度に40周年を迎えるせたがや文化財団は、節目の年に因んだ取組みを様々進めてまいります。開館30周年を迎える世田谷文学館は、これまで取り組んできた漫画・SF・80年代サブカルチャー展示の集大成となる企画展「士郎正宗の世界展」で幕開けをします。美術館の「開館40周年記念 世田美のあしあと—暮らしと美術のあいだで」では、より多くの方に足を運んでいただけるよう開館記念日3月30日の週の土日を無料とします。創立15周年を経たせたがやジュニアオーケストラは、昨年、新装されたホームグランド・世田谷区民会館で4回の公演に臨みます。さらには、戦後80年・昭和100年・区による平和都市宣言40周年の年、生活工房は「昭和の子ども文化」展（仮）を開催し、世田谷パブリックシアターでは、昨年度から本格的に再開した海外からの招聘公演をさらに充実、国際事業部では、日本の伝統文化である「華道」や「茶道」の体験など、外国人を対象とした事業を充実させます。

昨年度、女性活躍推進法に基づく優良企業として、厚生労働大臣より「えるぼし」最高評価の認定をいただいた財団では、今年度より不妊治療のための休暇制度（ライフサポート休暇）の導入をはじめ、子の看護休暇、介護休暇等の充実など、育児や介護と仕事を両立させるための制度改正を進め、持続可能な財団経営と柔軟な働き方ができる職場の実現に努めてまいります。今後も、これまでの成果を検証しながら、労働環境の整備等により、効率的で効果的かつ公正な業務遂行・事業展開を目指してまいります。

大幅な円安や人手不足などの影響から、急激に諸物価・製作費等が高騰し、予算としても、事業を行う環境としても、さらに厳しい状況が続いていくこととされます。そのような中であっても、文化・芸術は、人々の相互理解の土壌を醸成し、多様性を受け入れることができる心豊かな社会を形成するものです。時々の状況に応じた工夫を重ねながら各事業を展開し、文化・芸術が持つ力とともに、財団が有するその社会的役割を果たしてまいります。

《世田谷文化生活情報センター》

世田谷文化生活情報センターは、生活デザインを提案する「生活工房」、演劇とダンス公演を主に展開する公共劇場「世田谷パブリックシアター」、親しみやすく良質な音楽を提供する「音楽事業部」、外国人支援や交流を担う「国際事業部」の4部門からなり、令和7年度で開館28周年を迎えます。

区民の文化向上に寄与する創造的な文化施設であり続けるため、今後も地域の方々との関わりや幅広い分野とのコラボレーションを重視し、公演、展示、教育普及など様々な事業を展開するとともに、区の施策と連携しながら多文化共生の取組みも進めてまいります。

○生活工房

施設の維持管理を適切に行い、利用者が快適にご利用いただけるような環境づくりに努めます。事務スペースの移転にあわせ、業務の効率化と利用者サービス向上を図ります。暮らしに身近な文化施設として、デザインやアート、生活文化をテーマに、様々な人たちが文化芸術に親しみ、交流・対話する場となる事業を実施します。

生活工房ギャラリーでは、身近な美容・科学に着目した「ヘアカラー展」や、戦後80年・平和都市宣言40年・昭和100年の節目の年に戦争と子どもの暮らしについて考える「昭和の子ども文化」展(仮)、世田谷文化生活情報センター周辺の地域に着目した「三角地帯の現在・過去・未来」展(仮)を開催します。

また、五感を使って日常の見落とされた出来事を再発見する体験型ワークショップ「日常を見限らない」(vol.5「味覚」のワークショップ)や、文化芸術を生活工房ならではのユニークな視点からとらえなおすセミナー等を開催します。

夏休み期間には、世田谷パブリックシアター「せたがやアートファーム」とも連動した造形活動体験ワークショップや、地域で活動するおはなしの会と共催する「おはなしいっぱい」を実施し、子どもの創造性を育む体験の場を提供します。

世田谷区内の市民活動を紹介する「ちかくのとく」シリーズの三軒茶屋編「三茶学」(仮)や、障害のある人とない人が一緒に参加する「エトセトラの時間」など、オンラインを活用することで、様々な人が参加できる事業も継続します。

ギャラリー展示の関連事業や、プログラム内容・参加者数に合わせた場所での事業開催など、施設全体を有効に活用し、教育機関や企業、地域で活動する団体とも連携しながら、多くの方が文化芸術に触れる機会を広げます。ホームページや情報誌で事業を広報するとともに、様々な創作・表現活動の魅力を伝え、積極的な情報発信に取り組みます。動画配信コンテンツの一層の充実も図ります。

○世田谷パブリックシアター

劇場のそれぞれの事業分野において、以下に重点を置いて事業を展開します。

公演事業では、白井晃芸術監督の演出作品を年間の大きな柱としつつ、若手や中堅の演出家を積極的に起用し、優れた舞台芸術作品の創造発信とともにアーティストの育成に力を入れていきます。さらに、地方へのツアー公演を積極的に実施し、成果を広く共有していきます。

年度後半に実施される東京デフリンピックも視野に入れつつ、日本語字幕付き上演や音声ガイドなどのバリアフリー対応や多言語対応を積極的に進めるとともに、各種割引制度を通じて観劇のハードルを低くする努力を続けます。

また、昨年度から本格的に再開した海外からの招聘公演をさらに充実させます。世界最先端のダンス作品や現代サーカス作品など、多彩な舞台芸術を紹介し、劇場が世界への窓となるよう努めます。さらに、文化庁「文化施設による高付加価値化機能強化支援事業」の採択を受け、海外での上演・ネットワーク形成を最終的な目標とする若手アーティスト育成事業に本格的に着手します。

夏休み時期には、昨年度開始した「せたがやアートファーム」を引き続き実施します。今年度は生活工房とも連携して造形ワークショップを実施するほか、海外からの招聘公演、親子で楽しめる演劇公演や落語公演、多彩なワークショップなど、誰もが自分のお気に入りを見つけられる多彩なメニューを取り揃えた「アートの農園」となることを目指します。

学芸事業においては、地域連携プログラムとして下馬地区で開催するコミュニティアートフェスティバル「極楽フェス」、区内文化団体の皆様に劇場で成果を発表いただく「フリーステージ」、三軒茶屋の秋の恒例行事となっている「三茶 de 大道芸」など、地域における文化活動の拠点としての劇場の存在感を発揮する事業を幅広く展開します。

また、開場以来培ってきたノウハウを最大限に活用した演劇ワークショップを劇場や区内小中学校などで多彩に展開するとともに、演劇やダンスの楽しみ方や取組み方を提案する様々な観客・専門家の育成プログラムを実施し、舞台芸術が生活の中に息づく環境整備に取り組みます。

劇場は、舞台芸術に触れ、その楽しみ方や実践について学ぶ場であると同時に、他者と出会い、共に生きていく方法を試し、身に着けていく場でもあります。多様なプログラムの展開により、公共劇場の役割を積極的に果たし、拡大していきます。

○音楽事業部(せたおん)

創立15周年を経た「せたがやジュニアオーケストラ」が、正念場を迎えます。来日するジュニアオーケストラと共演する「台湾高雄市交流演奏会」、姉妹関係にある姫路市ジュニアオーケストラとの「交流イベント」と、夏に2つのジョイント・コンサートを行った後、秋に「オータムコンサート」、一年の締めくくり「定期演奏会」と、新装されたホームグラウンド世田谷区民会館で、4回の公演に臨みます。

世田谷区民会館では、昨年度受託したオープニングイベントに続き、世田谷区が主催する公演を共同して手掛けていきます。宮川彬良スペシャル・プロデューサーの「せたがや音楽研究所」、区在住の人気音楽家エリック・ミヤシロを招く「世田谷アーティスト支援企画」、「室内楽シリーズ」のひとつ上野耕平の公演を行うほか、無料で気軽に楽しめる「まちなかコンサート」の特別版、区民が舞台に上る「Setagaya Voice Fes」を実施して、会館での公演を本格化させます。また、「世田谷区民会館ラウンジ・コンサート」で、ラウンジ空間の活用も図っていきます。

他の地域での事業にも力を入れます。池辺晋一郎音楽監督肝いりの企画「異分野とのコラボレーション」を烏山区民会館で、細川俊夫の新作オペラ日本初演と本條秀慈郎公演の「室内楽シリーズ」2企画と「シリーズ和・華・調」は成城ホールで実施します。北沢タウンホールでは定着しつつある「ミュージック・ラウンジ」を3企画、玉川せせらぎホールではクリスマス時期に「まちなかコンサート」を開き、期待に応えます。

さらには、商店街はじめ地域のイベントにアーティストを派遣して好評の「Setagaya Arts Place」、内容を一新した「学校への訪問企画」などを通じて、きめ細かい活動を心掛けます。

愛好家にも、あまり縁がないなど思っている人たちの心にも、音楽が届くように――。とても難しい、大きな課題ですが、悲願だったスタッフ増員を糧にして、せたおんは挑戦していきます。

○国際事業部

世田谷区第二次多文化共生プランのもと、人々が互いの文化の違いを認め合い、対等な関係の中での共生を目指し、せたがや国際交流センター(クロッシングせたがや)において次の取り組みを進めていきます。

在住外国人からの相談に対して、有益な情報の提供や最適な相談機関の紹介とあわせ、必要に応じて伴走的なサポートを実施します。

また、東京都の相談機関や区内の大学との協力・連携を充実させるとともに、区内の国際交流活動団体間とのネットワークを拡充して、情報共有に努めることにより、専門的な相談にも対応できる体制づくりを目指します。

年間を通じてシリーズで開催する「多文化理解講座」では、在住外国人の地域活動への参加促進として、日本の伝統文化である「華道」や「茶道」の体験など、外国人を対象とした事業を充実させます。加えて、国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) と共催する「難民支援パートナーズ映画祭」、夏休みの「子ども大使～アンゴラ共和国大使館への訪問」など、国際的な視野を拓ける事業を実施します。また、外国人に伝わりやすい「やさしい日本語」を学ぶ機会を区民に提供します。

地域日本語教育の推進として、「外国人のための日本語教室」と「せたがや日本語サポーター講座」については、昨年度に引き続きせたがや国際交流センターで実施します。さらに、日本語を学んでいる外国人と日本語でサポートしたい日本人が、気軽に交流を楽しめる場として、「にほんご交流会」や「まち歩き」の事業を実施します。

施設の立地を活かして、地域団体や大学等が行う国際交流の活動紹介などの展示企画、外国人スタッフによる交流イベントなどを定期的で開催します。

せたがや国際交流センターは、これからも多文化共生に関する交流や情報発信の拠点として、在住外国人をはじめ区民のみなさんに、様々な交流の機会の創出と多様な情報の提供に取り組んでまいります。

《世田谷美術館》

現代美術、写真、テキスタイルデザインなど幅広い分野のアートを紹介する展覧会を開催します。企画展「横尾忠則 連画の河」は、88歳にしてなお、破格の創造活動を続ける世田谷在住作家の個展です。どこまで自由になれるかテーマすら決めず、来客との対話や1枚の記念写真からイメージが繋ぎ合わされる、2023年春から制作された連歌ならぬ「連画」のような新作で新たな世界を紹介。「野町和嘉一人間の大地」は、信仰を支えに多様な風土と折り合いながら生き抜く人々を、地球規模で旅し、記録し続けた写真家の個展です。政情悪化や、急速なグローバルズムで営みが一変するなど、二度と撮影できない人と大地のドキュメントを旅のエッセイも加え、半世紀にわたる足跡を辿ります。「自然と塊 利根山光人の旅」展は、等々力のアトリエに遺された彫大な素描や版画群を長年調査し反映させた展覧会です。調査により世界中に創作のイメージを求める彼の姿が明らかになり、本展で旺盛な好奇心による創作の旅路を追う新たな作家像を提示します。「つぐ minä perhonen」展は、創設30周年となるブランド「ミナ

「ベルホネン」の活動と思想を「つぐ」という言葉の持つ様々な意味と組み合わせ、紹介します。手作業で描かれたテキスタイル原画、オリジナルテキスタイル、洋服などが並び、その創作プロセスも提示。そしてミュージアムコレクション特別篇として「開館40周年記念 世田美のあしあと—暮らしと美術のあいだで」を開催。時代の変遷とともに歩んだ当館の40年をコレクションで迎えるだけでなく、普及活動の実績を踏まえたワークショップやパフォーマンスなどの事業を実施。開館記念日3月30日の週の土日を無料開館とし、より多くの方に足を運んでいただきます。

その他インドにまつわる写真や絵画をはじめ、20世紀に活躍した女性作家を現代の視点から捉えなおすコレクション展や、分館3館での各2本の展覧会を開催します。普及事業では、引き続きボランティアと協働して美術鑑賞教室や100円ワークショップ等を行うほか、美術大学や世田谷区民展など様々な事業を実施。ホームページ、SNS等で継続的に魅力ある情報を発信して幅広くアートに親しんでいただける機会を提供します。

《世田谷文学館》

開館30周年を迎える世田谷文学館は、企画展「土郎正宗の世界展」で幕開けです。本展は、これまで取り組んできた、漫画・SF・80年代サブカルチャー展示の集大成であり、かつ、これからの活動を見据えての新たなチャレンジとなります。そして秋からは、「ドナルド・キーン展（仮称）」を開催します。日本人以上に日本を知り、その魅力を伝え続けたキーンの生涯を通して、日本文化・文学とは何かを改めて問い、「セタブン」ならではの展示空間でその魅力に迫ります。

コレクション展も30周年にふさわしい2本を実施します。前期は「海野十三と日本SF」と題して、日本SFの父・海野十三を軸に、海野を愛読して育ち、その後の日本SF文学を築いた作家たちの活躍をご覧ください。後期は「世田谷線・100年間のものがたり」と題して、沿線に住んだ作家たちや、地域を舞台に描かれた作品を紹介し、地域文学の豊かさをお伝えします。

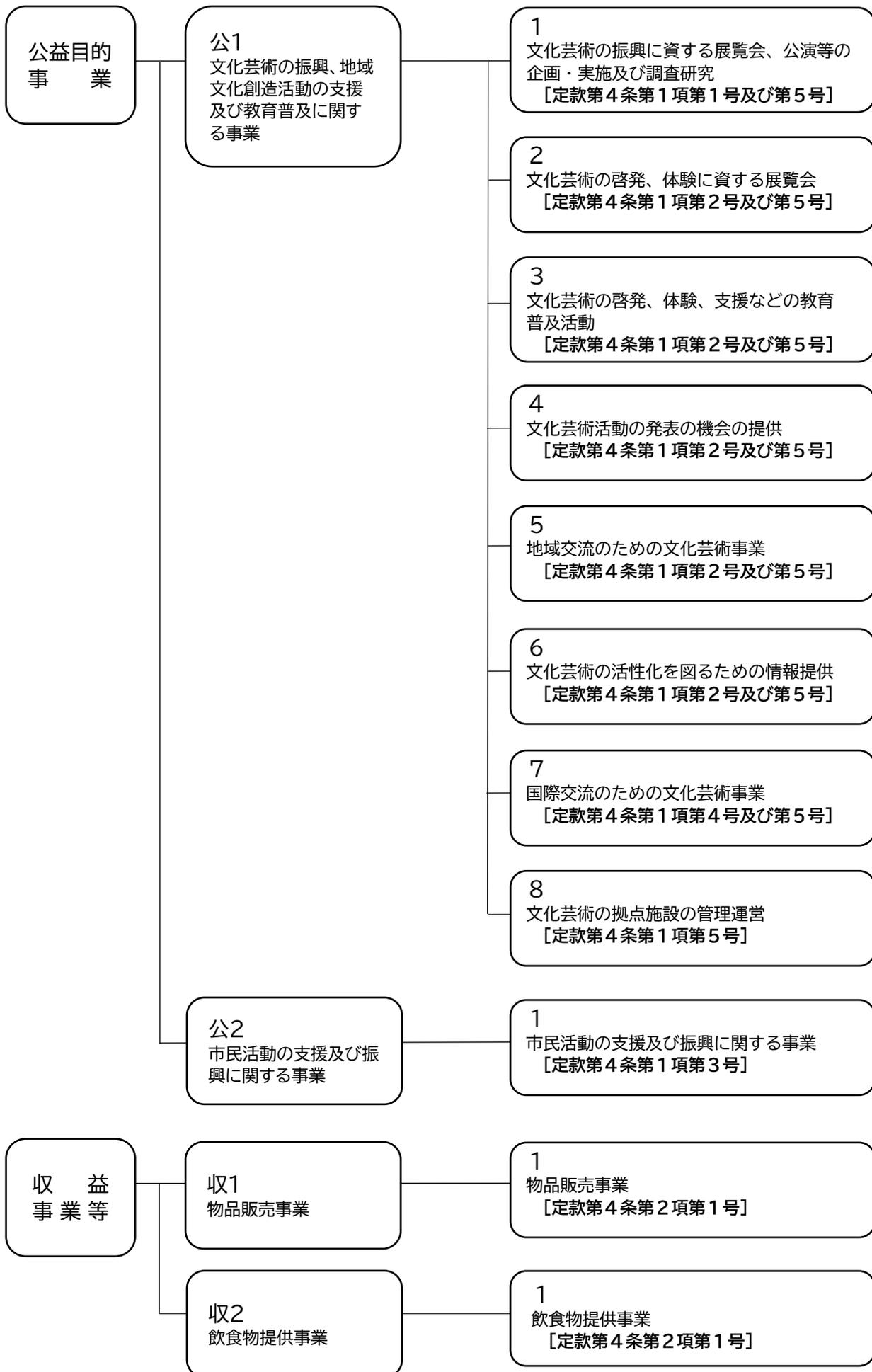
30周年を記念する「セタブン30祭」は、30年の歩みを振り返る展示のほか、シンポジウムやコンサート、文学講座など、文学館ゆかりの作家やアーティストを招いた、様々なイベントを実施します。

資料調査・研究では、当館の貴重なコレクションである横溝正史関連資料から、横溝の未公開日記を「世田谷文学館収蔵資料〈調査と研究〉03」として刊行します。

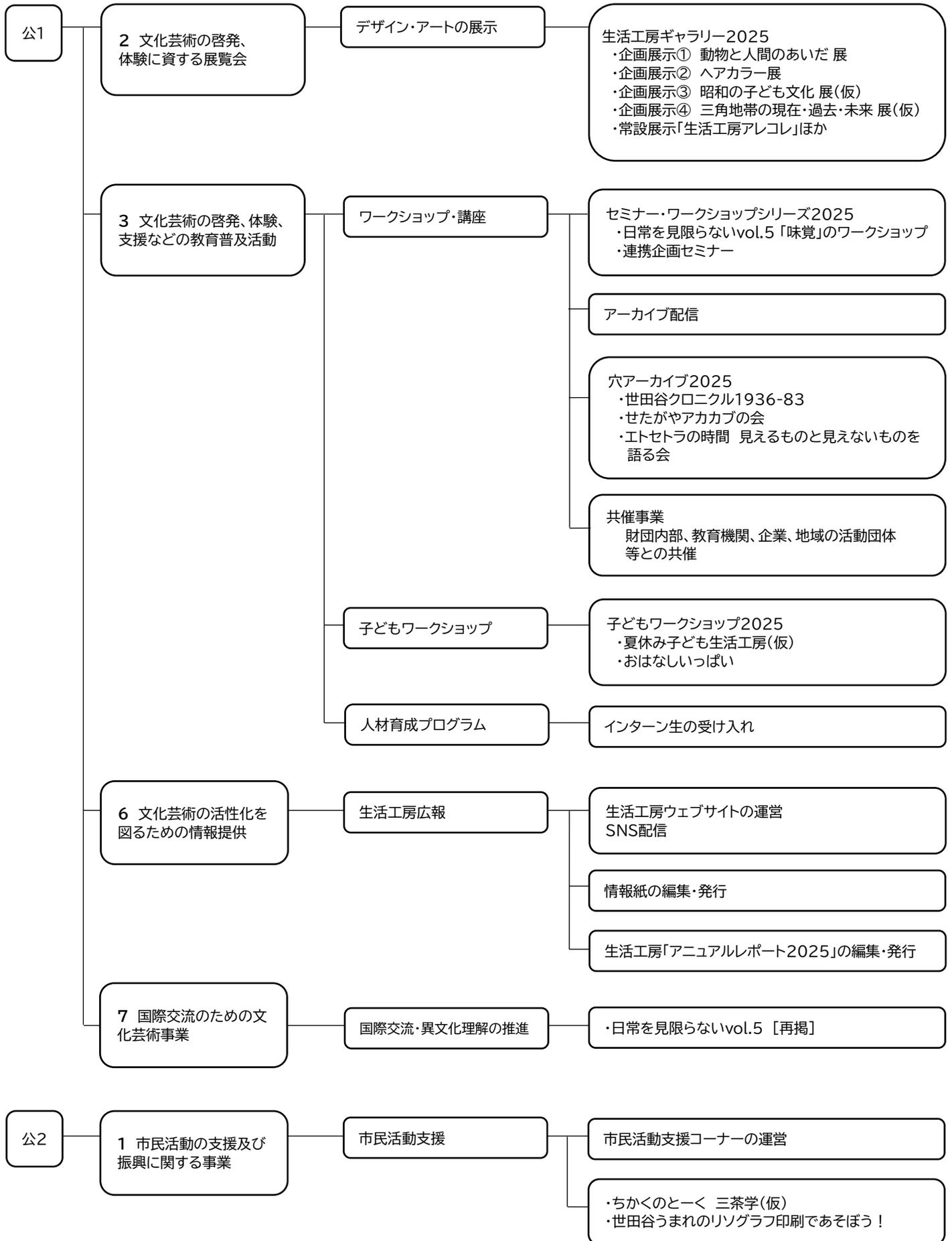
教育普及は、毎年好評の「どこでも文学館」をいっそう充実させていきます。新たな出張展示キットも加え、区内外の文化施設で展示を展開します。また、30周年を機に「世田谷文学賞」を装いも新たに再開します。文学の土壌豊かな世田谷から、また新鮮な作品が生まれることを期待します。

令和7年度は、今まで支えてくださった多くの皆様への30年分の感謝とともに、次へと歩み出す文学館をご覧ください。活動を目指してまいります。

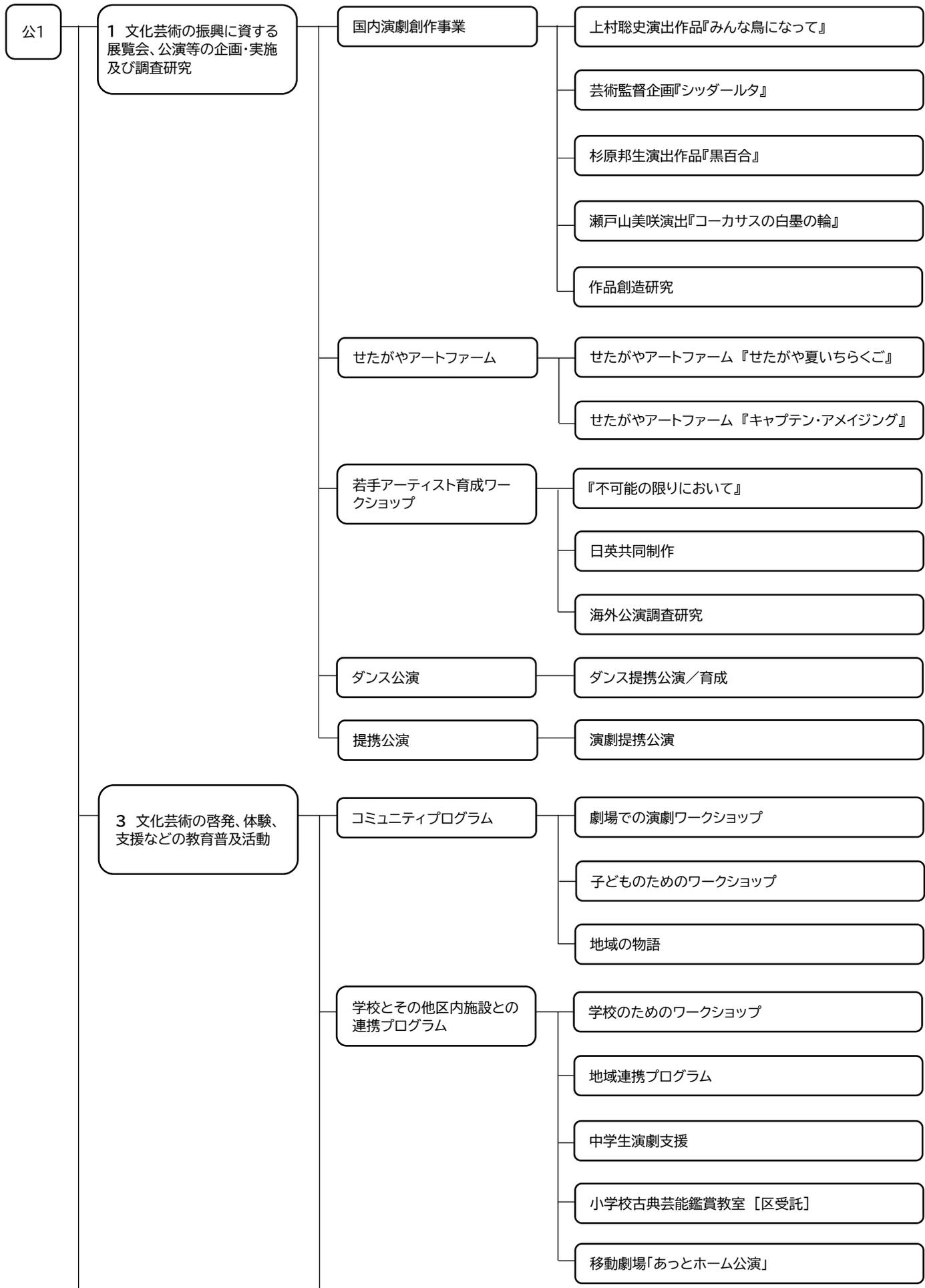
2. 事業の体系

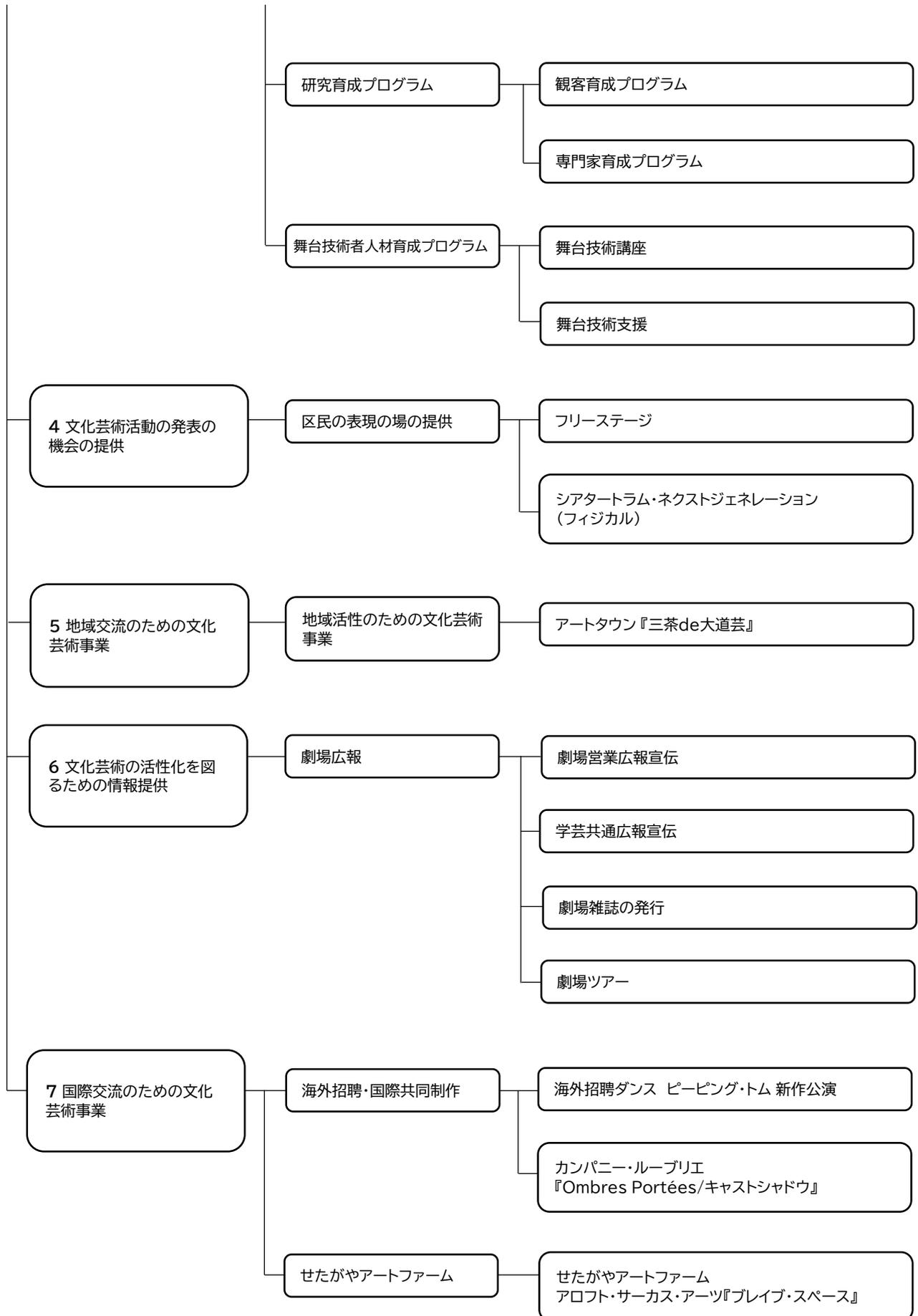


事業の体系 世田谷文化生活情報センター 生活工房

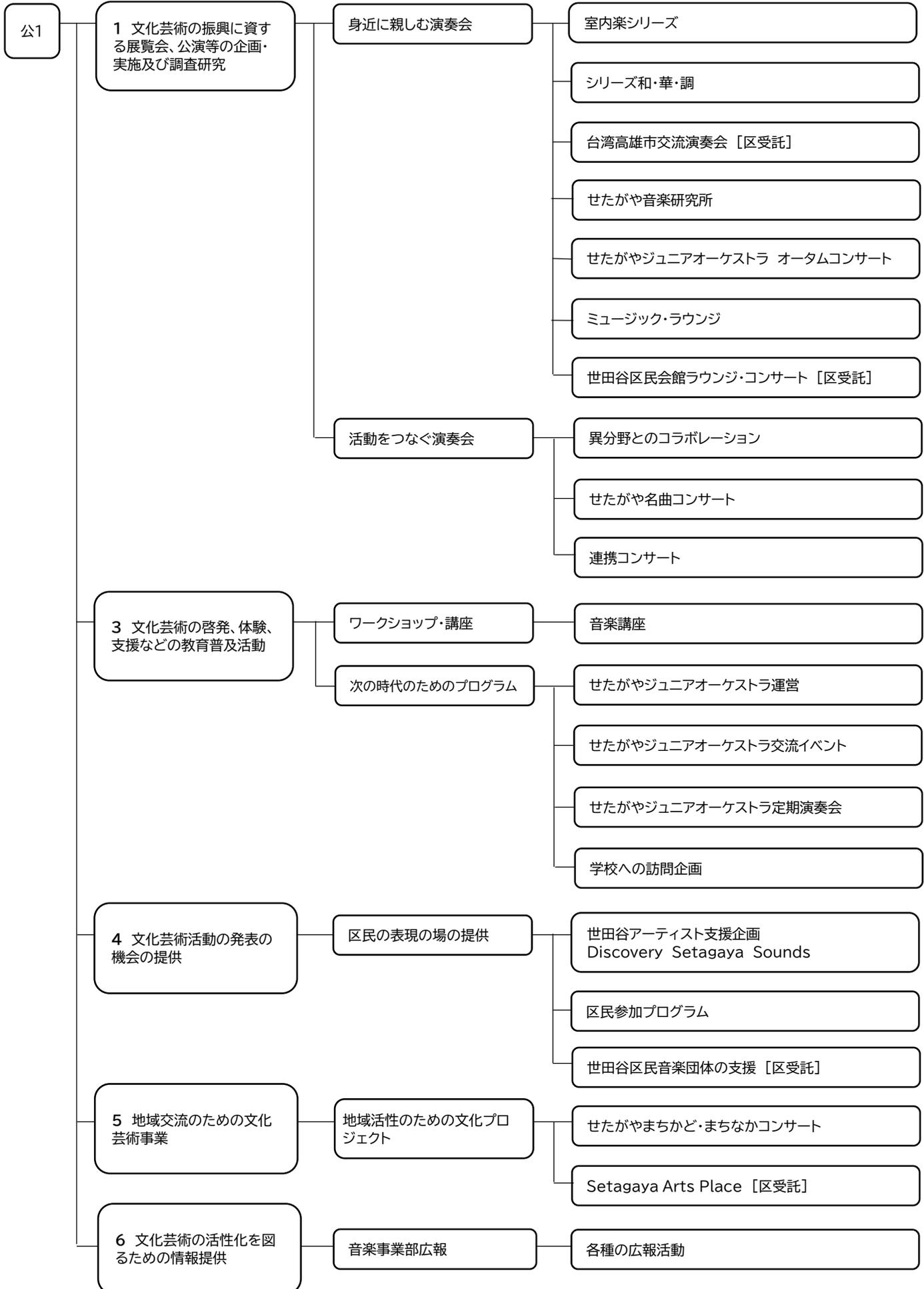


事業の体系 世田谷文化生活情報センター 世田谷パブリックシアター





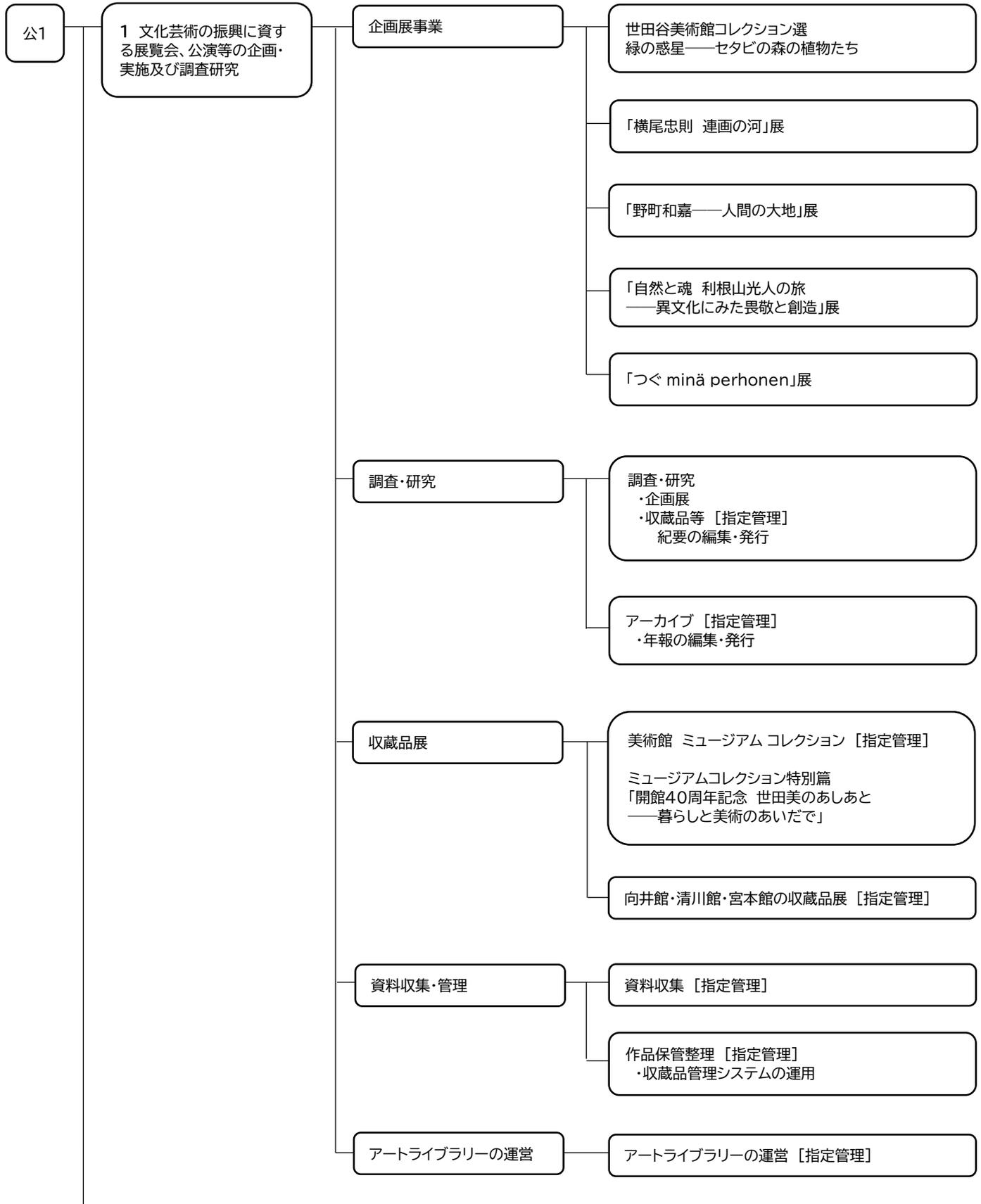
事業の体系 世田谷文化生活情報センター 音楽事業部(せたおん)

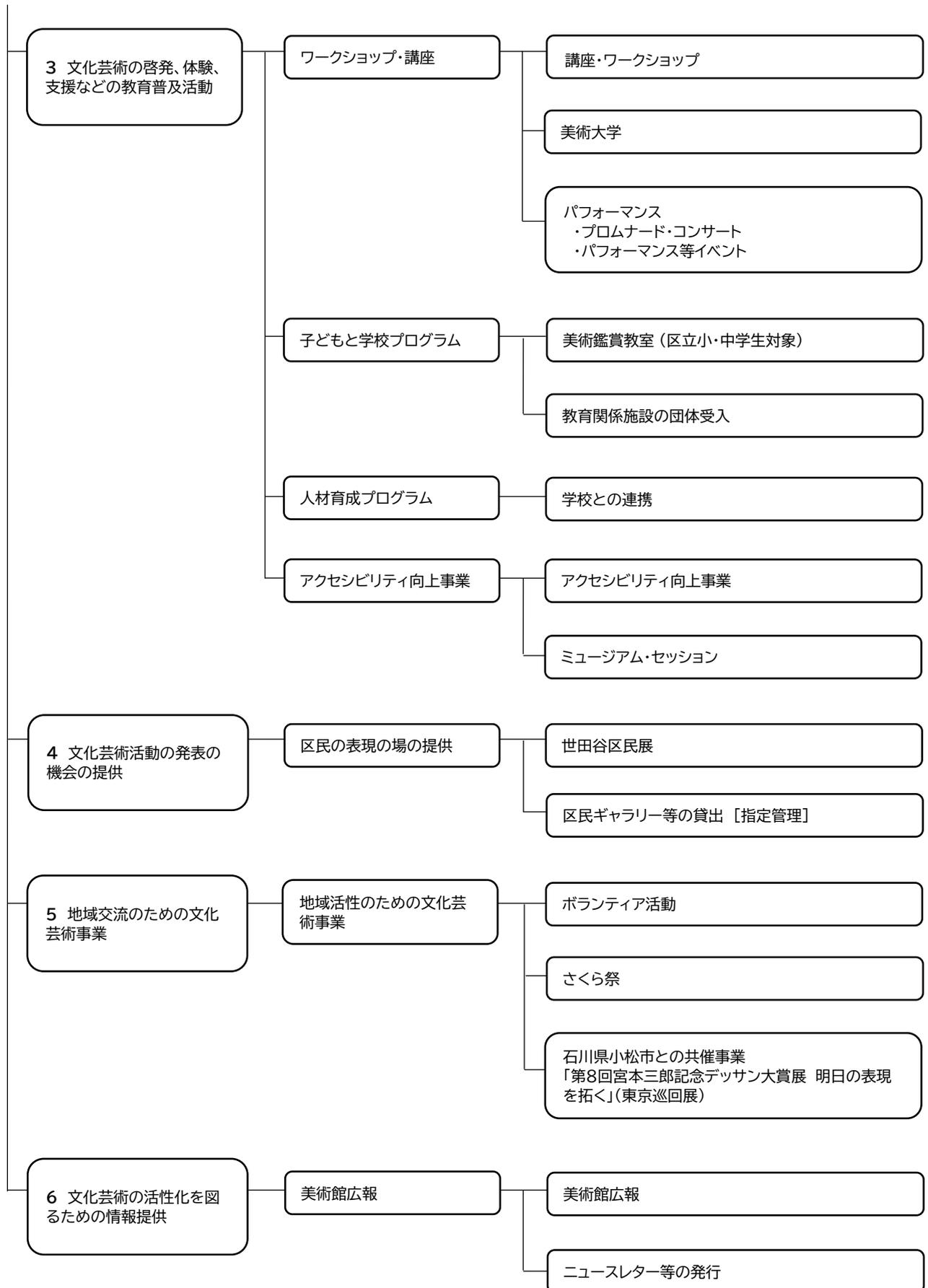


事業の体系 世田谷文化生活情報センター 国際事業部

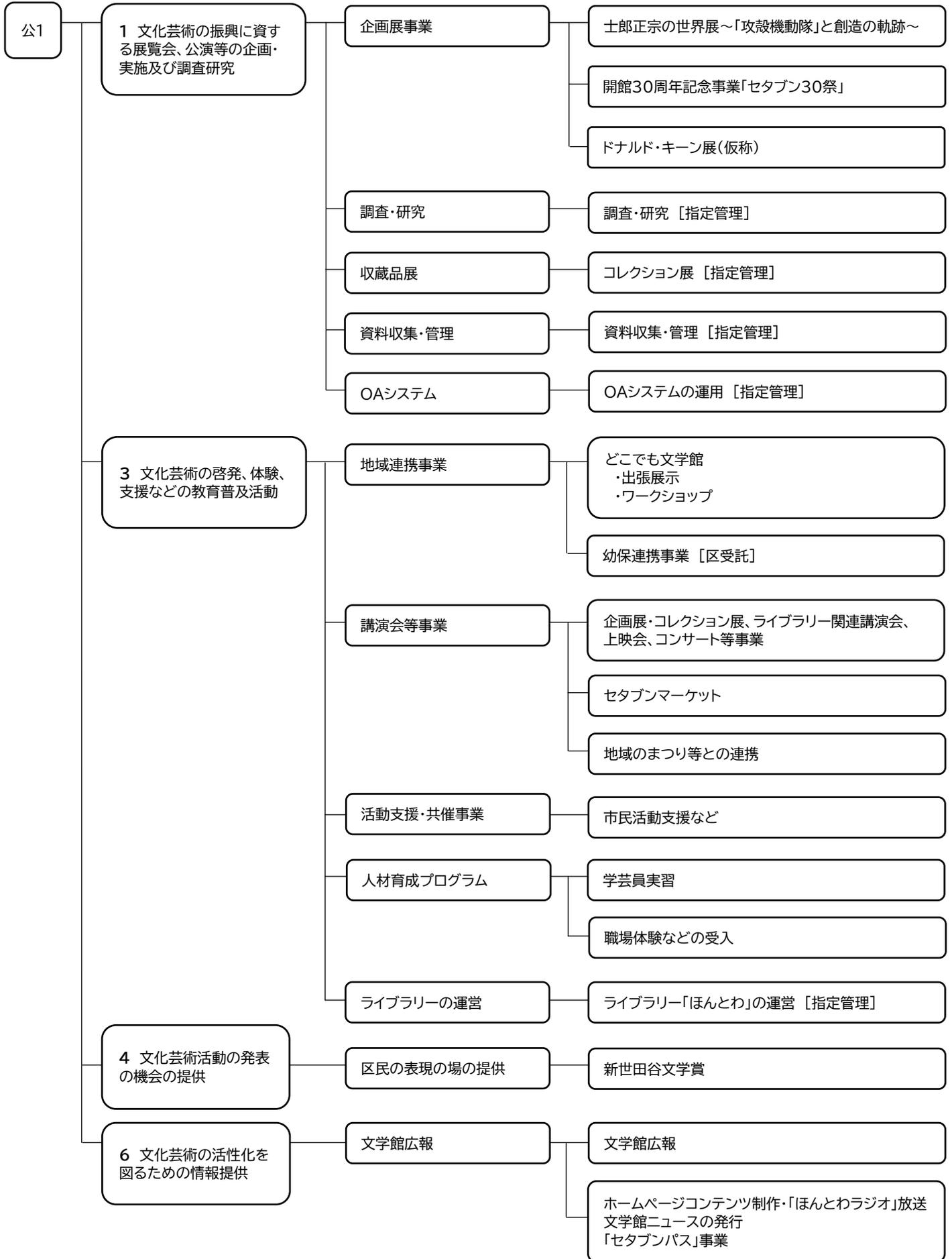


事業の体系 世田谷美術館

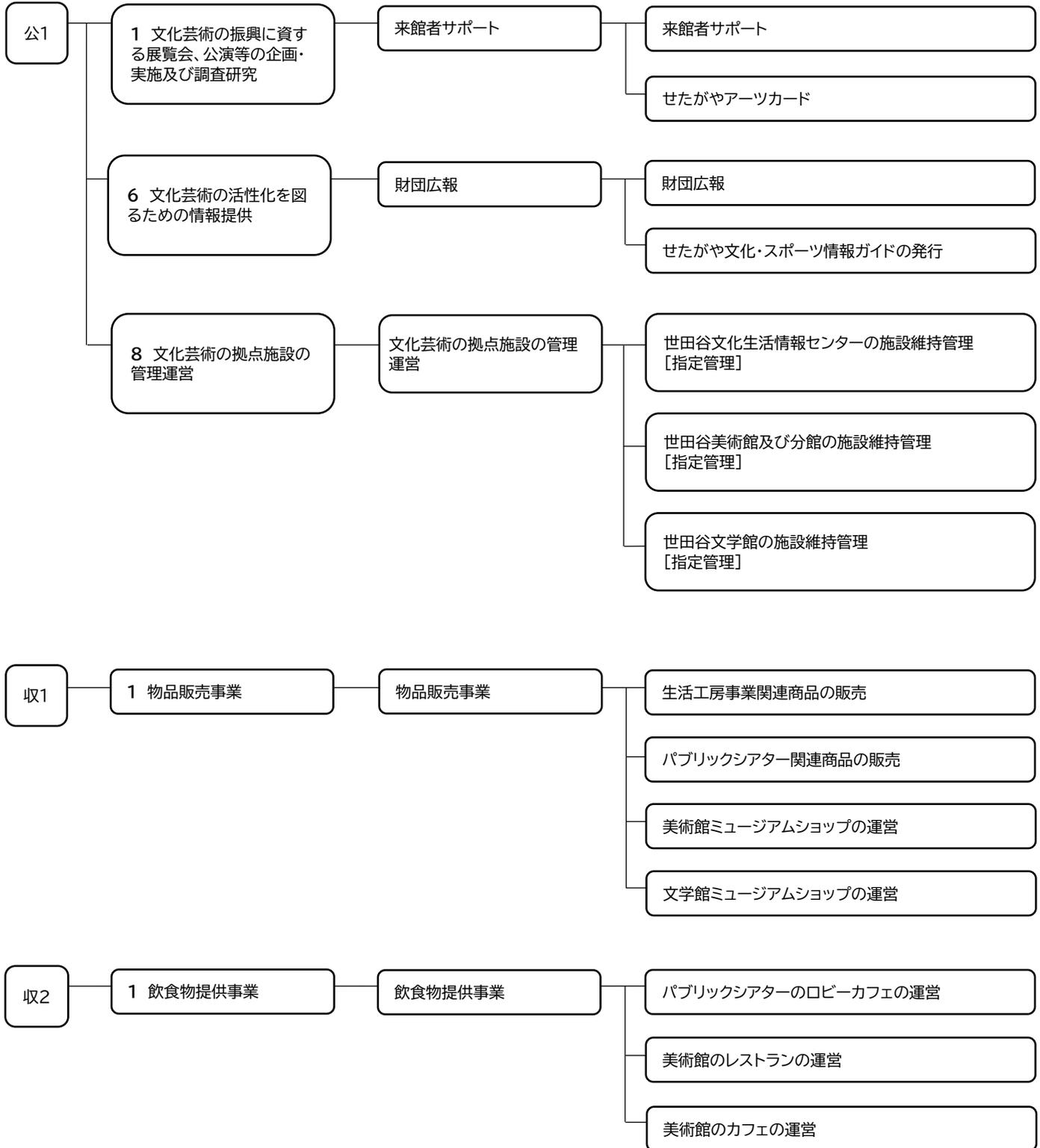




事業の体系 世田谷文学館



事業の体系 財団共通



3. 事業計画

(1)世田谷文化生活情報センター 生活工房

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
デザイン・ アートの展示	【生活工房ギャラリー2025】	デザイン、生活文化に関する幅広いテーマの展示事業を、生活工房ギャラリーで実施。関連事業として会期中にトークイベントやワークショップも開催。	2,000人 (総計: 15,000人)	(1月21日)~ 4月20日	生活工房ギャラ リー、ワークショッ プルームほか
	PART OF THE ANIMAL—動物と人間のあいだ—	絵に描くだけではでない、詩や音楽や、演劇、踊りをも包括した〈動物をえがく〉ことについて、人類学・芸術学・生物学・比較文学の研究者たちが世界をフィールドにおこなった調査や、アーティストたちの思索をたどりながら「動物と人のあいだ」の回路をひらく展覧会。			
	ヘアカラー展 なぜ染める、なぜ染まる。	髪を染めるという身近な美容・科学に着目し、広がり続けるヘアカラー文化を考察する企画。	15,000人	4月29日~ 8月11日	生活工房ギャラ リーほか
	昭和の子ども文化 —資料が語る・戦争と平和の子どものくらしと遊び(仮)	戦後80年・平和都市宣言40年・昭和100年となる節目の年に、研究者の春日明夫氏が所蔵する数百点の玩具コレクションを通して、「戦争と子ども文化」を考える展示。	15,000人	8月19日~ 12月28日	生活工房ギャラ リーほか
	三角地帯の現在・過去・未来(仮)	世田谷文化生活情報センター周辺の住民の暮らしやまちづくりの歴史を紹介し、地域理解を深める展示。	10,000人	2026年 1月~4月	生活工房ギャラ リーほか
	(常設展示)「生活工房アレコレ」ほか	「世田谷クロニクル」の上映や、展覧会やワークショップを記録した映像、資料の公開などを常設で紹介し、来館者が生活工房の活動に親しむ場とする。	50,000人	通年	生活工房3Fロ ビー
ワークショッ プ・講座	【セミナー・ワークショップシリーズ2025】	財団内部、教育機関、企業、地域の活動団体等と連携し、多様な人たちが交流・対話する場となるワークショップ、セミナー等を実施。	100人	10月~11月	ワークショッ プルームほか
	日常を見限らない vol.5 「味覚」のワークショップ	五感を使って日常の見落とされた出来事を再発見する体験型セミナー・ワーク ショップ・シリーズの第5弾。味覚や食文化について学ぶ。			
	連携企画セミナー	生活デザインの視点で「暮らし」や「生きること」を見つめなおし、共に考える参加型のセミナーを実施。	100人	未定	ワークショッ プルームほか

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
ワークショップ ・講座	アーカイブ配信	セミナー・ワークショップの記録をYouTubeで公開するラーニングプログラム。	ページ ビュー数 30,000回	通年	オンライン
	【穴アーカイブ2025】	世田谷区民から募った8ミリフィルムのアーカイブ事業。デジタル化した映像をオンラインで公開している。上映会や常設展示でも紹介し、映像から想起した個々人の記憶を収集、公開していく。			
	世田谷クロニクル1936-83	8ミリフィルムを公開しているウェブサイト「世田谷クロニクル1936-83」。ウェブサイトの運営に加えて、美術館等への貸出を行うほか、アウトリーチ事業で活用を図る。	ページ ビュー数 10,000回	通年	オンライン
	せたがやアカカブの会	「世田谷クロニクル1936-83」に収録された映像をもとに、フィルムを介して思い出した個人的なエピソード、気付いたことや気になったことなど、スクリーンを囲みながら言葉にしていく定期上映会。(3回)	80人	通年	ワークショップ ルームほか
	エトセトラの時間 見えるものと見えないものを語る会	視覚障害者と一緒に8ミリフィルムを鑑賞するワークショップ。「視覚障害者とつくる美術鑑賞ワークショップ」との協働で、視覚障害者の鑑賞機会の拡充や、相互理解の機会を創出。(2回)	オンライン 20人	通年	オンライン
	【共催事業】 財団内部、教育機関、企業、地域の活動団体等との共催	施設の利活用を促進するとともに、利用者の裾野を広げるため、地域の大学やNPO等と共催し、生活やデザイン、社会課題等と結びついた様々な催しを行う。	500人	通年	ワークショップ ルームほか
子どもワーク ショップ	【子どもワークショップ2025】	幼児から中高生、さらに若年層を対象に、デザインやコミュニケーションの体験などを通して、創造性を育む機会を創出する。			
	夏休み子ども生活工房（仮）	地域の子ども達が無事申込なしで気軽に訪れ、デザイナーやアーティストなどのプロフェッショナルと交流しながら自由に造形活動を体験できる特別なスペースを、夏休み期間中に設ける。(1週間程度)	2,000人	7月～8月	ワークショップ ルームほか
	おはなしいっぱい	幼児から大人まで楽しめる朗読、素話、パネルシアターなど、区内30団体が構成する「世田谷おはなしネットワーク」によるお話会。子どもが、地域に根差した活動をする大人たちと出会う機会を創出し、世代間や地域間の交流の活性化や、ネットワークの広がりを支援する。	1,000人	8月	ワークショップ ルームほか

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
人材育成プログラム	インターン生の受け入れ	区内の近隣大学からインターン生を受け入れ、市民活動や文化事業の現場を体験する場を提供する。	2校 (若干名)	8月	—
生活工房 広報	生活工房ウェブサイトの運営 SNS配信	生活工房の施設案内、事業予定、募集情報、レポートなどを掲載し、情報を発信する。SNS (X、Facebook Page、Instagram)と併せ、効果的に広報を展開する。	—	通年	—
	情報紙の編集・発行	生活工房の事業を紹介する情報紙を定期発行する。区内施設や全国の文化施設等で配架して施設全体の周知を図るとともに、デジタル化された情報では受け取ることが難しい層にも情報提供する。	—	通年	—
	生活工房「アニュアルレポート2025」の編集・発行	年間のプログラムを記録した報告書。生活工房の活動を視覚的にわかりやすく紹介する冊子を発行する。施設の総合的な情報を開示することで事業活動への関心を高める。	1,500部	2026年4月	—
国際交流・異文化理解の推進	日常を見限らない vol.5 「味覚」のワークショップ [再掲]	五感を使って日常の見落とされた出来事を再発見する体験型セミナー・ワークショップ・シリーズの第5弾。味覚や食文化について学ぶ。	100人	10月～11月	ワークショップ ルームほか
市民活動 支援	市民活動支援コーナーの運営	世田谷区内で活動する市民活動団体を支援するため、打合せスペース、プリントアウトスペースなどの貸し出しや交流の場を提供する。運営は市民活動団体に委託。	8,000人	通年	市民活動支援 コーナー
	ちかくのとーく 三茶学(仮)	世田谷区内で身近な地域課題に取り組む団体や人物を紹介しながら、市民活動への参加や支援を促進する継続的なトークシリーズの三軒茶屋編。会場とオンラインで開催。	360人 (うちオンライン100人)	通年	セミナールームほか
	世田谷うまれのリソグラフ印刷であそぼう!	市民活動を支えるリソグラフ(簡易印刷機)に着目し、クリエイターを講師に招いて、その印刷特性を活かした創作ワークショップを開催。	160人	7月～9月	市民活動支援 コーナー、ワーク ショップルームほか

(2)世田谷文化生活情報センター 世田谷パブリックシアター

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
国内演劇 創作事業	上村聡史演出作品 『みんな鳥になって』	【作】ワジディ・ムワド 【演出】上村聡史 2014年より、シアタートラムと世田谷パブリックシアターで上演を続けてきた、作:ワジディ・ムワド×演出:上村聡史による「約束の血 4部作」シリーズの第4弾として、『みんな鳥になって』の上演をする。本来「約束の血 4部作」の最終章は別の作品になるのだが、演出者と話し合い、日本での上演の4作目には、「約束の血」の世界観を引き継ぎながらも、まさにリアルタイムで世界が抱える大きな問題である民族紛争、宗教問題について、そのボーダーラインを越えるために試行錯誤する、強い意思が描かれた『みんな鳥になって』という作品を選択するに至った。重厚なテーマを上村の華麗な演出で昇華させ、舞台芸術の豊かさ楽しさを、より多くの観客に提供する。(25回予定)	12,400人	6月～8月	パブリックシアター
	芸術監督企画 『シッダールタ』	【作】ヘルマン・ヘッセ 【演出】白井晃 釈迦が悟りの境地に達するまでの体験を描いた、ドイツの文学者ヘルマン・ヘッセの代表作『シッダールタ』を舞台化する。 本作に感銘を受けたという白井晃芸術監督が演出し、NHK連続テレビ小説『らんまん』において脚光を浴びた長田育恵が脚本を手掛ける。原作で描かれている紀元前5・6年の物語と並行するように“現代”の別軸のストーリーを織り込み、今を生きる我々へ「文明とは何か・これからの世界はどこに向かうのか」を問う新作演劇。(50回予定)	29,000人	11月18日～ 12月27日	パブリックシアター
	杉原邦生演出作品 『黒百合』	【原作】泉鏡花 【脚本】藤本有紀 【演出】杉原邦生 世田谷パブリックシアター初登場となる若手演出家杉原邦生により、泉鏡花原作の『黒百合』を上演する。脚本はTVドラマ界でも活躍する藤本有紀。翻訳劇から歌舞伎の演出まで幅広く手掛ける杉原だからこそ、その確かな構成力と奇想天外な手法で、今までの鏡花演劇とは一線を画す舞台を立ち上げてくれるに違いないと、芸術監督の白井晃が杉原を抜擢。作品の舞台となる富山で、村々を襲ってきた洪水と、立山に伝わる「黒百合伝説」を結びつけた本作を、こうした若手演出家の視点で上演することで、日本独自の耽美的なロマン主義文学の面白さを、若い観客層にも伝えていく機会ともする。(20回予定)	9,900人	2026年 2月	パブリックシアター
	瀬戸山美咲演出 『コーカサスの白墨の輪』	【作】ベルトルト・ブレヒト 【上演台本・演出】瀬戸山美咲 20世紀で最も偉大な劇作家と称されるドイツのベルトルト・ブレヒトがアメリカ亡命時代に未来への希望を描いた代表作の一つ『コーカサスの白墨の輪』を演劇界の寵児＝瀬戸山美咲が演出し、現代日本を映し出す作品として上演する。(21回予定)	11,300人	2026年3月 11日～29日	パブリックシアター

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
国内演劇 創作事業	作品創造研究	次年度以降の上演演目としての可能性を探るため、調査研究の一環として、海外戯曲の翻訳(粗訳)、新企画の為の演目調査を先行して行い、世田谷パブリックシアター企画制作としての作品に適しているか否かを検討する。また、次世代を担うスタッフやキャスト達の出会いの場としても機能するワークショップを開催することにより、実演家の若手育成にも貢献する。事業の実施に着手する以前から作品検討を行うことにより、より完成度の高い舞台作品を創造する環境作りを行い、劇場のレパートリー作品を充実させていく。	—	通年	稽古場ほか
せたがやア ートファーム	せたがやアートファーム2025 『せたがや 夏いちらくご』	当代随一の人気と実力を持つ春風亭一之輔を迎え、評価、将来性などとともに備えた、落語など芸能の演目によるプログラムを企画し上演する。幅広い年齢層に向けて寄席芸能がもつ魅力を次代へつなぎ、その魅力を国内外へ向けて発信する。はじめて落語に触れる子どもたちに向けた親子で楽しめる入門的な公演と、落語通も満足できる本格的な落語会と、それぞれターゲットをわけた特色ある公演を2回実施する。(2回)	1,100人	7月27日	パブリックシアター
	せたがやアートファーム2025 『キャプテン・アメイジング』	【作】アリスター・マクドウォール 【演出】田中麻衣子 イギリス出身の劇作家アリスター・マクドウォールによる子どもから大人まで楽しめる一人芝居のコメディ作品「キャプテン・アメイジング」を上演。2013年の初演以降、エジンバラをはじめ各地で上演され、上演のたびにイギリス演劇界で話題を呼んだ人気作品を、日本の近代戯曲から海外古典・ミュージカルなど多岐にわたる活躍で評価を高めている注目の演出家・田中麻衣子が日本初演として手掛ける。今回の上演では、10人以上の役を一人の俳優が演じる本作を、個性豊かな3名の俳優によるトリプルキャストとして上演する。(15回予定)	2,800人	7月26日～ 8月3日	シアタートラム
若手ア ーティ スト育 成ワ ーク ショ ップ	『不可能の限りにおいて』	《文化施設による高付加価値化機能強化支援事業対象事業》 今後グローバルな活躍が期待される若手演出家を登用して、今日的な問題が世界的な視点で考察される同時代戯曲を選んで、リーディング公演として実施する企画。本作は2023年のアヴィニオン演劇祭で上演され大きな話題を呼んだ作品で、赤十字社と国境なき医師団の人道支援者からのリアルな証言を集めて戯曲化された一種のドキュメンタリー演劇としての要素を持つ作品である。常識が通用する世界と、そうでない世界を作者は「可能の領域」「不可能の領域」という呼称で分け、「可能の領域」であれば救える命が「不可能の領域」では救うことができない日常が淡々と語られていく。世界各地で紛争が勃発し、それが最早対岸の火事で無い今日においては、実にタイムリーな作品であるといえる。	1,100人	8月	シアタートラム

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
若手アーティスト育成ワークショップ	日英共同制作	《文化施設による高付加価値化機能強化支援事業対象事業》 北朝鮮による日本人拉致問題を題材としたイギリスナショナル・シアター制作の『The Great Wave』(2018年初演)の脚本で大きな注目を集めたイギリス人劇作家フランシス・ターンリーによる新作を日英共同制作する。2027年～2028年に計画されている東京及びロンドンでの上演に向けた創作プロセスの一環として、ワークショップを行う。日本人若手アーティスト(クリエイター、俳優、スタッフ等)とイギリス側チームによる約1か月間のワークショップを実施し、最終日には非公開の試演会を行う。	15人	11月～ 2026年1月	稽古場
	海外公演調査研究	《文化施設による高付加価値化機能強化支援事業対象事業》 当劇場が制作した舞台芸術作品の海外ツアー公演や新規のプロジェクトにおける国際共同制作の実現可能性について調査するもの。2027年度～2028年度にかけて計画している海外公演の実現に向けて、海外の劇場及び舞台芸術関係者との交渉・打ち合わせ、現地視察等を行う。調査先は韓国、イギリスほかを予定。	—	通年	韓国 イギリス ほか
ダンス公演	ダンス提携公演／育成	気鋭の若手カンパニーからベテランまで、選りすぐりのダンスカンパニーと提携し、現代演劇と舞踊を専門として上演する劇場のレパートリーの多様性を創出する。創作活動を支援しながら、演劇的な要素や、音楽、美術など、異なるジャンルのアートとの出会いを提案し、世田谷でしか生まれ得ない新しい舞台芸術の創造を目的とする。(8団体)	4,700人	通年	パブリックシアター/シアタートラム
提携公演	演劇提携公演	気鋭の若手から長年の実績を誇るカンパニーまで、優れた演劇作品の上演実績がある劇団・ユニット・制作会社・団体等と提携し制作的な補助、広報宣伝協力等を行う。 ・シス・カンパニー ・to R mansion ・イキウメ ・JACROW ・iaku ・俳優座 ・ヌトミック ・劇団普通 ・範宙遊泳	23,000人	通年	パブリックシアター/シアタートラム

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
コミュニティ プログラム	劇場での演劇ワークショップ	1～2日単位で気軽に演劇や劇場を体験できるワークショップ「デイ・イン・ザ・シアター」を中心に、テーマを設定した上で複数日にわたって行う演劇ワークショップ。子どもを持つことなどをテーマに「20代・30代のための演劇WS」を実施することを予定している。(36回予定)	410人	通年	稽古場ほか
	子どものためのワークショップ	子どもを対象に、演劇ワークショップを実施する。 ①「夏休みWS」学校の長期休暇に合わせたWS。 ②「子どもごちゃまぜ演劇WS」学齢で区切らないWSとし、子どもたちが年齢の違うグループと作業する機会を提供する。 ③「ひらけ！絵本」未就学児に向けたプログラムを展開する。 (62回予定)	810人	通年	稽古場ほか
	地域の物語	区民を中心とした参加者たちが、現代社会が抱える社会的課題から考えられるテーマをもとに自分たちの住む社会・暮らし・地域について思考するワークショップを2か月～3か月をかけて実施する。最後には、作品としてまとめあげ、シアターラムにて広く地域の観客に向けて上演する。 また、2021年度に創作した『うけいれる身体、うけいられない身体』の地方ツアーを2か所予定している。(通年ワークショップ32日、発表会2回予定)	850人	通年	稽古場/シアターラムほか
学校とその他 区内施設との 連携プログラム	学校のためのワークショップ	世田谷区内の小中学校の児童・生徒・教員を対象に、以下の4つの事業を実施する。 ①「かなりゴキゲンなワークショップ巡回団」：進行役やアーティストが学校へ出向き、教科の学びに活かす演劇ワークショップを実践する。 ②「ともしやの部屋」：障害当事者のライフストーリーからなる小作品を巡回する。 ③「先生に向けたWS進行のヒント」：冊子作成。	8,250人	通年	世田谷区内小中学校/稽古場
	地域連携プログラム	非営利の区内施設／団体(児童館、障害者支援施設、病院、集合住宅等)に進行役を派遣して、演劇的手法を用いたワークショップや参加型作品を、当該施設／団体と協働して施設利用者及び近隣住民に向けて実施する。 今年度は、過年度に引き続き下馬地区に焦点をあて、地域の福祉法人ほかと連携してアートのお祭り「極楽フェス」を開催するほか、世田谷区玉川地域社会福祉協議会事務所との企画等を予定している。	200人	通年	世田谷区内施設ほか

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
学校とその他 区内施設との 連携プログラム	中学生演劇支援	中学生を対象に、年間を通じた演劇活動を提供する。 ①「中学校支援」 世田谷区立中学校教育研究会演劇教育研究部と連携し、区立中学校演劇部を中心とした中学生への活動支援。支援内容は、演劇区大会支援を中心に、学校に訪問しワークショップを行うなど、希望に応じたものとする。 ②「世田谷パブリックシアター演劇部」 演劇部がない学校の子どもに向け、劇場で演劇ワークショップを実施する。2学期には、作品をつくり発表することを前提としたワークショップを実施。作品は世田谷区立中学校演劇発表会等で発表する。	350人	通年	世田谷区内小中学校/区民会館ほか
	小学校古典芸能鑑賞教室 [区受託]	世田谷区立の小学校(全校)6年生を対象に、各学校体育館にて狂言ワークショップを実施。能狂言の発想や技能を体感し、日本固有の伝統芸能について関心を高める機会を提供する。(28回予定)	6,500人	5月～6月	世田谷区内小学校体育館
	移動劇場「あっとホーム公演」	劇場へなかなか足を運ぶことのできない、お年寄りや障害者が生活する場所へ、劇場から演劇を運んで上演する。観客は施設の利用者、職員ほか、家族、近所に住む方々。プロの演出家、俳優が、誰にでも楽しんでもらえ、かつ移動可能なオリジナル作品を創って、見ている人たちの前で演じる。また、劇には施設の職員さんが登場する場面や、見ている人たちが物語に参加できる仕掛けを用意して、その場にいる人たち全員が劇を介して一体感を持てるように工夫する。(14回予定)	1,000人	5月～6月	世田谷区内特別養護老人ホーム、デイサービス、障害者施設
研究育成プログラム	観客育成プログラム	地域市民及び観客を対象に、以下の2企画を実施する。 ①『世田谷パブリックシアターダンス食堂』(劇場で上演するダンスプログラムと連携し、ダンサーの理念やメソッドに触れるワークショップ及びトーク) ②「トーク企画」(舞台芸術に対する視野を広げ、批評的な視点を獲得するためのトーク企画を対談形式で実施)	170人	通年	稽古場/セミナールームほか
	専門家育成プログラム	大学生や進行役、研究者を対象に、演劇ワークショップの社会における活用方法について調査研究する「SPTラボラトリー～演劇ワークショップラボ」を設定し、ラボメンバーを募集する。今年度は、「福祉」「教育」「まちづくり」を3本柱に、レクチャーやワークショップを組み合わせた実践形式のプログラムを行い、一部のレクチャーやワークショップは一般にも公開する。(24回予定)	300人	通年	パブリックシアター/シアター・タラム/稽古場/セミナールームほか

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
舞台技術者 人材育成プ ログラム	舞台技術講座	次世代を担う舞台技術者やプランナー、デザイナーを対象に、舞台・照明・音響各分野で未経験者及び経験者向けの安全講座、各分野別プログラムを実施する。また、安全セミナー編、劇場構造講座など多様なプログラムを設ける。(7講座予定)	310人	通年	パブリックシアター/シアタートラム
	舞台技術支援	劇場使用者等に対して、設備等の使用講習会を実施するとともに、プラン・オペレートや機材等の支援を行う。	—	通年	—
区民の表現 の場の提供	フリーステージ	世田谷区民を中心とした、音楽やダンスなどの文化活動を行なっている団体から出演団体を公募。世田谷パブリックシアター(バレエ部門、ダンス部門)とシアタートラム(音楽部門)にて、各団体と劇場スタッフが協力し、事前の打ち合わせやリハーサルなどの作業を重ね、日ごろの成果を発表する。(5日間5回)	3,000人	4月23日～ 5月4日	パブリックシアター/シアタートラム
	シアタートラム・ネクストジェネレーション(フィジカル)	2008年度より実施されてきた世田谷パブリックシアターによる、若い才能の発掘と育成を目的とした事業である「シアタートラム・ネクストジェネレーション」を、2023年度からは「ドラマ(演劇)」「フィジカル(ダンス、サーカス等身体表現)」とジャンルを分け、隔年で実施。今年度は「フィジカル」部門を実施する。シアタートラムが次代を担う若手実演家・実演団体にとっての創造・活動の“拠点”となることを目指し、世田谷区から全国へ発信する長期的なプログラムとする。(4回予定)	560人	12月16日～ 21日	シアタートラム
地域活性の ための文化 芸術事業	アートタウン 『三茶de大道芸』	三軒茶屋の街を舞台に、商店街の各所で大道芸のパフォーマンスなどを行う。三軒茶屋の活性化と地域の文化向上を図るため、地元商店街や町会等との実行委員会方式により実施する。2日間開催。(文生センター全体事業)	200,000人	10月 18日、19日	三軒茶屋駅周辺 商店街ほか
劇場広報	劇場営業広報宣伝	営業・広報宣伝活動を通じて世田谷パブリックシアターの事業を世田谷区内外に広く周知する。地域の劇場/創造発信型劇場としての当劇場の存在意義を高めるブランディング活動として各種メディアへの情報提供、ホームページや広報誌などによる情報発信を行い、主催事業への集客を図り財団の収益性の向上に資する営業活動を行う。	—	通年	—
	学芸共通広報宣伝	学芸部門で行われているワークショップ・レクチャー等の普及を進めるための広報物の作成や宣伝等の活動を、紙媒体ならびにホームページ(オンライン)を中心に展開する。	—	通年	—

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
劇場広報	劇場雑誌の発行	各事業の成果を記載したアニュアルレポートを劇場雑誌として編集・発行する。2025年度は2024年度の事業を報告するための冊子を作成する。その他、必要に応じて事業ごとの活動を分析、記録、周知する劇場雑誌を編集・発行する。	500部	通年	—
	劇場ツアー	世田谷パブリックシアター及びシアタートラムの施設や機構などをツアー形式で参加者に紹介する。ツアーのナビゲートは芸術監督又は劇場職員が主体的に行う。(4日間)	250人	通年	パブリックシアター/シアタートラム
海外招聘・国際共同制作	海外招聘ダンス ピーピング・トム 新作公演	ベルギーを拠点に世界で活躍するダンスカンパニー ピーピング・トムの新作公演。オランダの国民的ダンスカンパニーNDTの委嘱を受けて制作した作品を、ピーピング・トムオリジナルバージョンとして上演し、世界各地で高い評価を受けている。 海外の優れたカンパニーの作品を上演するとともに、ダンスワークショップやレクチャーなどの関連事業を実施。カンパニーの魅力を多角的に紹介することで、日本の観客が舞台芸術のすばらしさに触れることのできる機会とする。(5回予定)	2,150人	9月～10月	パブリックシアター
	カンパニー・ルーブリエ 『Ombres Portées/キャストシャドウ』	フランスのボルドーを拠点とし、当館での国際共同制作の実績もあり、パリ五輪関連イベントでも注目を浴びた演出家・振付家ラファエル・ボワテル率いるカンパニー・ルーブリエを招聘し、話題作『Ombres Portées/キャストシャドウ』を公演する。クラウド・スウィング、コントーション、アクロバット、エアリアルなどの迫力あるサーカスアクトと共に、家族の物語を描いた本作により、多くの観客に質の高いパフォーマンスを楽しんでいただく機会を提供する。また、アマチュア向け、プロ向けのワークショップをそれぞれ開催する。(3回予定)	1,350人	10月21日～26日	パブリックシアター
せたがやアートファーム	せたがやアートファーム2025 アロフト・サーカス・アーツ 『ブレイブ・スペース』	せたがやアートファームのプログラムとして、アメリカ・シカゴを拠点に活動しているアロフト・サーカス・アーツの人気作で、パンデミックによって世界が分断された時代に「信頼できるコミュニティをつくる」ことを目的として創作された観客参加型のサーカス公演『ブレイブ・スペース』を招聘する。 また、公演のほか、子ども向け及び大人向けの複数のワークショップを開催する。(7回予定)	700人	7月30日～8月3日	パブリックシアター

(3)世田谷文化生活情報センター 音楽事業部(せたおん)

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
身近に親しむ 演奏会	室内楽シリーズ	内外で活躍する演奏家による室内楽の演奏会シリーズ。多彩で質の良い音楽を提供する。「語りと音楽『遠くから来たきみの友だち』」、「本條秀慈郎」、「上野耕平」の3公演を実施の予定。	1290人	4月4日 7月6日 10月18日	成城ホール(4月、7月) 世田谷区民会館
	シリーズ和・華・調	日本の伝統音楽を紹介していくシリーズ。第一級の音楽家による演奏に、親しみやすい演出を加えて、堪能いただく。今回は、浄瑠璃音楽の古曲のひとつで、重要無形文化財である「宮蘭節」を取り上げる。	270人	4月19日	成城ホール
	台湾高雄市交流演奏会 [区受託]	文化交流に関する覚書を締結している台湾・高雄市から、KSO青少年交響楽団が来日するのに合わせて、せたがやジュニアオーケストラとの合同演奏会を開く。	750人	7月29日	世田谷区民会館
	せたがや音楽研究所	せたおんスペシャル・プロデューサー宮川彬良が所長に扮し、音楽の魅力を新しい視点で楽しく紹介していく人気企画。装いも新たに、グレードアップして実施する。	760人	8月24日	世田谷区民会館
	せたがやジュニアオーケストラ オータムコンサート	親しみやすい曲目と趣向を用意して、せたがやジュニアオーケストラの練習の成果を披露する。全体合奏を行うほか、セクションごとのアンサンブル曲も交え、バラエティ豊かな公演を目指す。	730人	11月9日	世田谷区民会館
	ミュージック・ラウンジ	大人がリラックスして楽しめるコンサートのシリーズ。会社勤めなどで忙しく、生の音楽に触れる機会の少ない人たちに向けて、肩の凝らない内容の演奏会を開催していく。3回実施の予定。	750人	5月16日 9月19日 2026年 1月30日	北沢タウンホール
	世田谷区民会館ラウンジ・コンサート [区受託]	世田谷区民会館を、周辺住民はじめ区民に親しんでもらうため、ラウンジの空間を利用して、気軽に楽しめるコンサートなど無料のイベントを6回実施する。	480人	未定	世田谷区民会館
活動をつなぐ 演奏会	異分野とのコラボレーション	池辺晋一郎音楽監督が、様々な分野で活躍しているゲストを迎え、音楽にまつわるトークと演奏を展開する、世田谷ならではのオリジナル企画。	240人	11月15日	烏山区民会館
	せたがや名曲コンサート	世田谷フィルハーモニー管弦楽団と世田谷区民合唱団が共演する恒例のコンサート。実施にあたっては、両団と実行委員会を形成して、運営にあたる。オペラの名曲を集めたガラ・コンサートを予定。	1,320人	2026年 2月22日	昭和女子大学 人見記念講堂
	連携コンサート	世田谷文学館開館30周年企画と連動したコンサートをはじめ、意義のある企画を選んで、他の団体と共同で開催するコンサート。多様な事業を展開し、演奏・鑑賞、双方の面から活動を活発化する。	未定	未定	世田谷文学館ほか

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
ワークショップ・講座	音楽講座	公演に因んだもの、また音楽にいろいろな角度から焦点をあてたものなど、区民がいろいろな形で音楽の楽しさ、おもしろさ、奥深さに触れられるような講座を開催していく。	140人	未定	未定
次の時代のためのプログラム	せたがやジュニアオーケストラ運営	子どもたちが、オーケストラ活動を通じ、情操や協調の精神を学び、豊かな人間性、社会性を身に付けることを目指す。楽器ごとのパート練習、全パートでの合奏練習などを年間通じて行う。	85人	通年	区内各所
	せたがやジュニアオーケストラ交流イベント	せたがやジュニアオーケストラの存在を社会に広め、区民に浸透させていくために行うイベント。同じく池辺晋一郎音楽監督を擁する”姉妹オーケストラ”姫路市ジュニアオーケストラを招き、交流コンサートを行う。	700人	8月10日	世田谷区民会館
	せたがやジュニアオーケストラ定期演奏会	年度末に、メンバー全員が揃って、一年間取り組んだ活動の成果を問う演奏会を開催する。同時に、広く区民にジュニアオーケストラへの関心を広げていくことを目指す。	820人	2026年 3月22日	世田谷区民会館
	学校への訪問企画	多くの子どもたちに音楽を身近に感じてもらうために、体育館などで開くコンサートやワークショップなどを通じて、学校に生の音楽を届ける。	1,000人	未定	未定
区民の表現の場の提供	世田谷アーティスト支援企画 Discovery Setagaya Sounds	世田谷区民の一流アーティストによる、世田谷区民に向けた、世田谷ならではの公演を実施して、今後の表現活動のきっかけをつくる。今回は、人気・実力を兼ね備えたエリック・ミヤシロのバンドが登場する。	700人	11月29日	世田谷区民会館
	区民参加プログラム	区民が参加して、第一線の音楽家と共につくっていくステージ。新世田谷区民会館での第1回目を飾るのは、“歌”に焦点をあてた「Setagaya Voice Fes」(仮称)。	800人	2026年 2月15日	世田谷区民会館
	世田谷区民音楽団体の支援 [区受託]	世田谷フィルハーモニー管弦楽団、世田谷区民合唱団、世田谷区民吹奏楽団、アマチュア3団体の活性化、発展を側面から支援する。	3団体	通年	—
地域活性のための文化プロジェクト	せたがやまちかど・まちなかコンサート	区民が身近な地域で音楽を楽しめるよう、区内各所の比較的小規模の公共施設や街角などで、小編成のバンドなどによるコンサートを実施する。	1,000人	6月8日 12月20日 ほか	世田谷区民会館、 玉川せせらぎホール、ほか
	Setagaya Arts Place [区受託]	世田谷区の主催するイベントや地域のにぎわいの核となっている商店街のイベントに、芸人やアーティストを派遣し、イベントをさらに盛り上げ、区民に身近な場所で気軽に文化・芸術にふれる機会を提供する。	未定	未定	未定
音楽事業部 広報	各種広報活動	ホームページ、「せたおんイベント」、さらにはマスコミ等への情報提供を通じ、事業予定・内容等を広く区民へ発信するほか、戦略広報としての展開を推進する。	—	通年	—

(4)世田谷文化生活情報センター 国際事業部

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
市民活動支援	せたがや国際交流センターの運営	主に、区内在住外国人の生活相談等の問い合わせに対する窓口案内などを行う。また、行政情報、生活・文化情報を多言語で発信する、国際交流に関する地域活動団体の紹介、パネル展示企画などを行う。	4,000人	通年	せたがや国際交流センター
	区内活動団体の支援事業	区内で多文化共生、国際交流、国際貢献活動をしている団体のPRや、イベント等の紹介、情報の共有などにより事業連携を行う。	10団体	通年	せたがや国際交流センター
国際交流・異文化理解の推進	区民国際交流事業	【せたがや国際メッセ】 区民が多様な文化を知り・触れることができ、参加・出展する区民団体等の活動をPRする場を提供する「せたがや国際メッセ」を区と共催で実施する。	未定	2026年 2月	未定
		【国際交流団体との共催】 区民と外国にルーツを持つ人と交流を目的とする事業を、区内の国際交流団体と共催して実施する。	未定	未定	セミナールーム ワークショップ ルーム
	にほんご交流会	やさしい日本語を用いて外国人と日本人がいくつかのグループに分かれ、お互いの文化や生活習慣などの意見交換をして交流を行う。(5回)	各50人	年5回程度	テンプル大学 日本大学文理学部ほか
	まち歩き	文化施設や商店街など、地域をめぐるイベントを企画し、区内の在住外国人と区民が、地域の魅力を発見しながら交流する。(2回)	各20人	未定	未定
ワークショップ・講座	【多文化理解講座】	文化の違いなどを学ぶことができる講座を開催し、多文化共生社会実現に向けての一助とする。			
	①外国人のための生け花体験	外国人を対象に、日本の伝統文化である生け花体験教室を実施する。(2回)	各10人	5月17日	ワークショップ ルームA
	②国連UNHCR関連事業 「難民映画祭パートナーズ上映会」	世界難民の日(6/20)に合わせて国連UNHCR協会と「難民映画祭パートナーズ上映会」を実施する。	120人	6月22日	せせらぎホール
	③子ども企画 子ども大使～アンゴラ共和国大使館への訪問	公募した区内小学校5、6年生を対象に、子ども大使としてアンゴラ共和国大使館を訪問する。	20人	7月末	アンゴラ共和国大使館

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
ワークショップ・講座	④外国人のためのテーブル茶道	外国人を対象に、日本の伝統文化である茶道を実施する。(2回)	各10人	9月20日	ワークショップ ルームA
	⑤やさしい日本語で話そう(仮)	日本語が少しだけ分かる外国人に伝わりやすい「やさしい日本語」を学ぶ講座、やさしい日本語で話すコツを楽しく学ぶ講座を実施する。	60人	4月、11月	セミナールーム
	⑥子ども企画 多言語で絵本を楽しもう(仮)	英語・中国語など多言語で絵本のお話しを楽しむ。	30人	12月	ワークショップ ルーム
	⑦外国の料理を学ぶ(仮)	外国の料理を学び、その国の生活・文化を知る。	15人	2026年2月	未定
地域日本語教育の総合的な体制づくり	外国人のための日本語教室	「日本語教育の推進に関する法律(令和元年6月施行)」のもと、在留するすべての外国人が日本社会で生活に必要な日本語を身につけられるよう講座を開催する。(5期、各20回)	各20人	5月、7月、 9月、10月、 12月、	セミナールーム オンライン ほか
	せたがや日本語サポーター講座	①日本語支援ボランティアをこれから始める方や初心者を対象としたオンラインによる初級講座(2期、各5回) ②日本語支援ボランティアとして1年以上活動中の方を対象とした中級講座(対面)を実施する。	①各40人 ②40人	未定	セミナールーム オンライン
	【その他】				
	しごとのための日本語	厚生労働省が実施している定住外国人のための「しごとのための日本語」の講座を区(経済産業部)と共催して実施する。(前期・後期 各31回)	各20人	5月～7月 10月～12月	セミナールーム ワークショップ ルーム
	外国人のための労働相談会	厚生労働省が実施している定住外国人のための労働相談会を区(経済産業部)と共催して実施する。	未定	未定	未定
	外国人のための無料相談会	外国人在留支援センターが実施する、主に留学生に向けた仕事に関する専門家相談会を共催で実施する。	未定	未定	未定
国際事業部 広報	国際事業部広報	せたがや国際交流センターの施設案内、国際事業部の事業などを情報発信する。また国際交流活動や地域活動などを実施する団体情報、外国人の生活に役立つ情報なども併せて発信する。 (ウェブサイト(改修予定)、Facebook、X、Instagram、メールマガジン、ニュースレター、世田谷区民まつり ブース参加)	—	通年	—

(5)世田谷美術館

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
企画展事業	世田谷美術館コレクション選 緑の惑星——セタビの森の植物たち	当館のコレクションから、古今東西、様々な手法で表現された多様な植物にまつわる作品を一堂に展示する内容。Ⅰ《森林》、Ⅱ《風景》、Ⅲ《庭園》、Ⅳ《楽園》、Ⅴ《花園》、の5つの章で構成し、併せて来場者が参加できる参加コーナー、関連イベントも多数開催する。	4,000人 (総計: 10,000人)	(2月27日) ～4月13日	世田谷美術館
	「横尾忠則 連画の河」展	88歳にしてなお、破格の創造活動を続ける美術家・横尾忠則(1936-)。描く際にどこまで自由になれるかを試すべく、昨今はテーマすら決めずにキャンバスに向かうようになった。アトリエを訪れる来客との対話、そしてある日モチーフとして選んだ、故郷の川辺で撮られた1枚の記念写真からイメージがつなぎ合わされ、日々連なってゆくようになる。その様子は、連歌ならぬ「連画」。2023年春から約2年にわたり制作されてきた新作には郷里の川が流れ、その水が伏流となり、すべての画面をひそかに横断してゆく。横尾忠則の壮大で新たな世界を紹介する。	22,000人	4月26日～ 6月22日	世田谷美術館
	「野町和嘉——人間の大地」展	熱心な信仰を支えとして多様な風土を折り合いながら生き抜く人々を、地球規模的スケールで旅し、記録し続けてきた写真家・野町和嘉(1946年、高知県生まれ)。 現在では政情悪化のために足を踏み入れることが困難な地も多く、さらに、携帯電話の普及や急速なグローバル化のなかでかつての人の営みは一変している。二度と撮影できない人と大地のドキュメントに、旅のエッセイも加え、野町の半世紀にわたる足跡を辿る。	14,000人	7月5日～ 8月31日	世田谷美術館
	「自然と魂 利根山光人の旅 ——異文化にみた畏敬と創造」展	利根山光人(1921-1994)は茨城県に生まれ、長く世田谷の等々力にアトリエを構えた洋画家。利根山といえば初期の佐久間ダムシリーズやメキシコとの関わりで紹介されることの多い作家だが、アトリエに遺された膨大な素描や版画群を調査するなかで、メキシコのみならずインドや中国、中東や欧米、そして日本各地の祭り、とりわけ古墳や遺跡に関心を寄せ、世界中に創作のイメージを求める姿が明らかになった。それらはまるで時空を超えた旅をしているかのようだ。 本展では、旺盛な好奇心による利根山の創作の旅路を追うことで、自由な創造の源泉を探り出し、新たな作家像を提示する。	10,000人	9月13日～ 11月9日	世田谷美術館

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
企画展事業	「つぐ minä perhonen」展	「つぐ」という言葉の持つ様々な意味と、2025年で創設30周年となるブランド「ミナ ペルホネン」の活動と思想を組み合わせで紹介する。展示品としては、手作業で描かれたテキスタイル原画、オリジナルテキスタイル、ミナ ペルホネンのプロダクトや洋服なども並ぶ。	80,000人	11月22日～ 2026年 2月1日	世田谷美術館
調査・研究	【調査・研究】 企画展	次年度以降の企画展の立案・具体化のため、国内外各所との交渉や基礎的な調査研究を行う。	—	通年	世田谷美術館
	収蔵品等 [指定管理]	収蔵品及び美術館活動に係る調査・研究を行う。学芸員による調査研究成果を『紀要』として編集発行し、美術研究に資する。	350冊	通年	世田谷美術館及び分館
	アーカイブ [指定管理]	本年度の事業のまとめとして『年報』を編集発行し、美術館活動を総括し、記録する。	300冊	通年	世田谷美術館
収蔵品展	美術館 ミュージアム コレクション [指定管理]	世田谷美術館の収蔵作品を、テーマを設定して公開する。 第Ⅲ期 1980年代のイギリス美術 展覧会の記憶とともに	17,920人	(1月25日)～ 4月6日	世田谷美術館
		第Ⅰ期 世田谷でインド		4月19日～ 7月13日	
		第Ⅱ期 もうひとつの物語—女性美術家たちの100年		7月26日～ 11月3日	
		ミュージアム コレクション特別篇 「開館40周年記念 世田美のあしあと—暮らしと美術のあいだで」		2026年 2月21日～ (4月12日)	
	向井潤吉アトリエ館収蔵品展 [指定管理]	向井潤吉作品にかかわる作品展を年2回実施する。 第Ⅰ期 京都と武蔵野—向井潤吉が描いたふたつの風景 第Ⅱ期 没後30年 向井潤吉 心の交流記—民家を訪ね、描く楽しみ	8,100人	4月1日～ 9月7日 10月1日～ 2026年 3月15日	向井潤吉アトリエ館

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
収蔵品展	清川泰次記念ギャラリー収蔵品展 [指定管理]	清川泰次作品にかかわる作品展を年2回実施する。 第Ⅰ期 清川泰次の写真——その時代とまなざし	2,420人	4月1日～ 9月7日	清川泰次記念ギャラリー
		第Ⅱ期 清川泰次 デザインの仕事——生活に息づく美		10月1日～ 2026年 3月15日	
	宮本三郎記念美術館収蔵品展 [指定管理]	宮本三郎作品にかかわる作品展を年2回実施する。 第Ⅰ期 宮本三郎 部屋のなかで—人物と静物をめぐって	3,600人	4月1日～ 9月7日	宮本三郎記念美術館
		第Ⅱ期 宮本三郎 都市と自然—それぞれの光		11月1日～ 2026年 3月15日	
資料収集・管理	資料収集 [指定管理]	貴重な美術作品及び美術に関する資料を、世田谷区民の文化的財産として蓄積していくため、区と共に収集委員会条例に基づき、収集する。現在、作品の購入はないが、作家本人や区民から寄贈の申し出があり、収集する機会が生ずる。これらの機会を的確にとらえ調査を行い、収集委員会への提案に結び付けていく。	—	通年	世田谷美術館及び分館
	作品保管整理 [指定管理] ・収蔵品管理システムの運用	収蔵品を保管・整理し、いつでも展示・公開できるように作品のコンディションを良い状態に保つ。問題が生じた作品は修復や額装改善などの処置を施す。作品のデータについては収蔵品管理システムを活用し、一括管理する。また、収蔵品の公開の機会を増やすため、貸付要領に基づき作品の貸出を行う。	—	通年	世田谷美術館及び分館
アートライブラリーの運営	アートライブラリーの運営 [指定管理]	世田谷美術館が所蔵している美術専門書の閲覧や視聴覚資料(DVD)の視聴、またレファレンスサービス等による情報提供を行う。	12,000人	通年	世田谷美術館
ワークショップ・講座	講座・ワークショップ	美術と創造の普及を目的とした各種講座、企画展に関連した講座、子どもから大人まで幅広い年齢層を対象とした単独開催形式の講座を開催する。どなたでも気軽に参加できる100円ワークショップ、実技の体験を目的とした講座や小中学生を対象にした実技と講義で美術を学ぶ講座を開催する。また、ウェブサイト及び公式Youtubeからの動画配信など様々な普及活動を行う。	1,545人	通年	世田谷美術館及び分館、創作室オンラインほか

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
ワークショップ・講座	美術大学	講義・実技を組み合わせた半年間の本科を、定員60名で開催。その他、ホームページからの動画配信などを通じての通信講座を引き続き開催する。また修了者を対象としたステップアップ講座も開催する。	460人	通年	世田谷美術館 オンラインほか
	【パフォーマンス】 プロムナード・コンサート	美術館を音楽による交流の場とするとともに、若手音楽家の育成を図ることを目的に、実力ある若手を中心とする音楽家によるリサイタル形式のコンサートを行う。	280人	年2回	世田谷美術館
	パフォーマンス等イベント	当館の建築空間や、普及活動の取組みを活かしたイベントやアーティストの創造支援等を実施する。	190人	通年	世田谷美術館 オンライン
子どもと学校プログラム	美術鑑賞教室(区立小・中学生対象)	世田谷区教育委員会との連携により、世田谷区立の小学校4年生の児童、中学校の生徒を対象に、展覧会及び美術館内の施設見学を実施する。またそのための出張授業の実施や、ガイドブック等の作成を行う。	17,300人 (全90校)	通年	世田谷美術館 区立小中学校
	教育関係施設の団体受入	保育園やフリースクールなどを含む、教育関係施設の団体を受入れ、来館プログラムを実施する。	800人	通年	世田谷美術館
人材育成プログラム	学校との連携	学芸員後継者育成と美術館諸活動の普及のために、「博物館学芸員資格課程」における「博物館実習」の講義、実技、実習を行う。(約11日間) 東京学芸大学と連携してインターン生を育成し、美術鑑賞教室で来館する区立小学校4年生への事前(若しくは事後の)出張授業を実施(小学校希望校約30校を予定)。また、ジュニア向けの作品マップを配布する。	実習生 20人 インターン生 10人 マップ 配布数 9,990人	通年	世田谷美術館 区立小中学校 大学ほか
アクセシビリティ向上事業	アクセシビリティ向上事業	展覧会に関連した講演会において、より良い理解を目的として、手話通訳を手配し、配置する。	8人	通年	世田谷美術館
	ミュージアム・セッション	教育施設等と連携し、研究会等を実施する。また、ハンディキャップのある方の来館を支援する企画や取組みを行う。	300人	通年	世田谷美術館 オンライン

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
区民の表現の場の提供	世田谷区民展	世田谷区在住、在勤、在学者、又は当館ボランティア、友の会会員や世田谷区を拠点にして制作をされている方、さらに群馬県・川場村在住・在勤・在学者を対象に、作品の募集を行い、区民ギャラリーにて展示する。	250人	10月～ 2026年3月	世田谷美術館
	【区民ギャラリー等の貸出】 [指定管理]	世田谷美術館及び清川泰次記念ギャラリーにおいて、創作活動発表の場として区民ギャラリー及び講堂の貸出を行う。			
	美術館(本館)区民ギャラリー	創作活動発表の場として、世田谷美術館の区民ギャラリーA・B貸出を行う。	75,000人	通年	世田谷美術館
	清川泰次記念ギャラリー区民ギャラリー	創作活動発表の場として、清川泰次記念ギャラリーの区民ギャラリー貸出を行う。	4,000人	通年	清川泰次記念ギャラリー
	美術館(本館)講堂	文化・芸術に関する活動・発表の場として、美術館活動に支障のない範囲で世田谷美術館の講堂貸出を行う。	1,300人	通年	世田谷美術館
地域活性のための文化芸術事業	ボランティア活動	世田谷区立小学校美術鑑賞教室及び出張授業、中学校美術鑑賞教室、川場小学校出張授業、ミュージアム・ツアー、ワークショップ、イベント等の支援を行う。	455人	通年	世田谷美術館ほか
	さくら祭	砧公園のお花見客への当館のPRを目的とする。エントランス広場でのミニワークショップ、パフォーマンス、フリーマーケットなどを実施する。	6,000人	2026年3月 28日、29日	世田谷美術館
	石川県小松市との共催事業	第8回宮本三郎記念デッサン大賞展 明日の表現を拓く(東京巡回展) ※世田谷美術館区民ギャラリーで開催	2,000人	11月15日～ 11月23日	世田谷美術館
美術館広報	美術館広報	当館ウェブサイトや各種公式SNS、印刷物のほか、マスコミ等の媒体への情報提供を通じて、館の活動や事業予定・内容等について広く区民等へ発信する。	—	通年	—
	ニュースレター(美術館だより、友の会だより)等の発行	世田谷美術館の友の会事業、また世田谷美術館事業の近況や、事業予定をお知らせするニュースレター(年3回、6月・10月・2026年2月発行、各1,500部)、年間予定表(2026年3月発行、50,000部)を発行する。	54,500部	6月、10月 2026年 2月、3月	—

(6)世田谷文学館

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
企画展事業	士郎正宗の世界展 ～「攻殻機動隊」と創造の軌跡～	<p>1985年にSF漫画「アップルシード」でメジャーデビューした士郎正宗。1989年には代表作となる「攻殻機動隊」の連載を開始するが、35年も前に描かれたその作品に息づく、今の時代を予言しているかのような世界観に驚かされる。緻密に描きこまれた作品には、哲学的なテーマへの探求が織り込まれており、多くのクリエイターに影響を与えながら、多様な形態での作品を生み出し続けている。</p> <p>様々なムーブメントの原点となる「士郎正宗」の初の大原画展として、描画の変遷や原稿の迫力を展示空間で魅せるとともに、神秘性漂う士郎正宗のパーソナルな部分にも迫る。</p> <p>2025年に開館30周年を迎える当館が、今まで取り組んできた〈漫画〉〈SF〉展示の集大成とするべく、本展に挑む。</p>	26,000人	4月12日～ 8月17日	世田谷文学館
	開館30周年記念事業「セタブン30祭」	<p>「セタブン30祭」と名付けた期間中、世田谷文学館の30年間の歩みを振り返る展示のほか、シンポジウムやコンサート、トークショー、連続文学講座、街歩きイベント、ヒーロー握手会、ワークショップなど、多世代を対象に多角的なテーマで事業を集中的に展開する。</p> <p>また、開館30周年記念誌では、作家・アーティスト・映画監督など最前線で活躍中のゲストが毎月様々なトークを繰り広げてきたラジオ番組「ほんとわラジオ」(2021年～)を特集する。</p> <p>なお、本事業は例年実施している「シーズン展示」事業を振り替えて行うものとする。</p>	3,370人	8月30日～ 11月9日	世田谷文学館 1階文学サロン
	ドナルド・キーン展(仮称)	<p>アメリカ・ニューヨーク生まれのドナルド・キーン(1922～2019)は、10代の頃に日本文学と出会い、第二次世界大戦を経て、戦後日本文学研究者としての道を歩み出した。日本文学の「黄金時代」に、三島由紀夫・安部公房・大江健三郎ほか、名だたる文学者たちと交流を深めたキーンは、晩年の2011年、東日本大震災後に日本への帰化を表明した。</p> <p>本展では日本人以上に日本・日本文学を知っていたドナルド・キーンの足跡や、その日常生活を追いながら、あらためて日本文学の魅力とは何かを伝えていく。</p>	10,000人	11月15日～ 2026年 3月8日	世田谷文学館
調査・研究	調査・研究 [指定管理]	<p>文学館活動の基盤となる収蔵コレクション及び世田谷ゆかりの作家・ゆかりの作品の調査・研究を行い、コレクション展や公刊物としてその成果を公表する。2025年度は昨年度に引き続き「世田谷文学館収蔵資料〈調査と探究〉03」を刊行する。</p>	—	通年	世田谷文学館

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
収蔵品展	コレクション展 [指定管理]	文学館が所蔵する貴重な文学資料を核にしなが、世田谷を舞台にした文学作品とゆかりの文学者たちの、創作と人生のエピソードを紹介し、広く区民に地域の文化と歴史に親しむ機会を提供する。 前期:海野十三と日本SF 後期:世田谷線・100年間のものがたり(仮)を予定。	15,000人	前期 4月26日～ 9月28日 後期 10月18日～ 2026年 3月31日	世田谷文学館
資料収集・管理	資料収集・管理 [指定管理]	世田谷ゆかりの作家や区民等からの寄贈・寄託により、文学資料等の収集を行う。世田谷区が所有している作品を系統的に整理するとともに、良好な状態で保存・展示するため保管管理し、計画的に調査を進める。保管環境の維持・向上のため、展示室・収蔵庫及び周辺部の環境確認のための環境調査のモニタリングを年間を通じて実施する。災害等緊急時のコレクション保護のための環境整備を行う。また、収蔵資料を広く活用するため、貸付要領に基づき、コレクションの貸付を行う。逼迫した課題である収蔵庫 狭小化対応のため、引き続き収蔵資料の保管場所の見直しと保管場所確保のための2階3階両収蔵庫の整理作業を行う。	—	通年	世田谷文学館
OAシステム	OAシステムの運用 [指定管理]	収蔵品管理システムの円滑な運用をはかり、所蔵資料の適切な情報管理を行う。また、新規に収集した資料や調査結果などのデータ入力(Adobeを使った画像修正含む)を合わせて行う。区民等が直接来館しなくても所蔵資料を閲覧・活用できるよう、所蔵資料のインターネット公開業務を計画的に行う。収蔵品を厳密に管理するために、一部資料につきICタグ管理システムを導入する。	—	通年	世田谷文学館
地域連携事業	どこでも文学館 ・出張展示 ・ワークショップ	「いつでも、どこでも、だれでも参加できる博物館」というコンセプトのもと、地域と連携してワークショップのプログラムの開発を進め、子ども対象だけではなく世代間交流イベントなどにより広い層の利用者獲得を目指す。学校や地域と連携しての写真展や文学作品のパネルなどの出張展示・出張ワークショップも引き続き実施し、出張展示キットの全国への貸し出しも行う。(区内17、川場村2、全国5、全24会場程度予定)	100,000人	通年	世田谷文学館、区内小中学校、区民センター、図書館、川場村など
	幼保連携事業 [区受託]	世田谷区教育委員会の「世田谷区幼児教育・保育推進ビジョン」の基本方針の一つである「文化・芸術とふれあうための各園等における環境づくり支援」の一環として、乳幼児を対象とした文化・芸術体験のアウトリーチ事業と連携するため、世田谷文学館が制作した出張展示用バナーセットの展示を、当委員会から委託を受け実施する。	200人	通年	区内幼稚園・保育園など
講演会等事業	企画展・コレクション展、ライブラリー関連講演会、上映会、コンサート等事業	企画展・コレクション展やライブラリー事業と連動したトークイベント、講座、コンサート、上映会、ワークショップなどを実施し、乳幼児も含めた幅広い層の来場者に、文学館の様々な楽しみ方を提案するオンラインイベントも継続で実施し、新規の利用者の参加にもつなげる。	1,000人	通年	世田谷文学館 オンライン

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
講演会等 事業	セタブンマーケット	広く区民が参加できる大型事業「セタブンマーケット」を開催する。2025年度は開館30周年を記念して、文学館ゆかりの作家・アーティストの出店やイベントなども開催し祝う。	2,000人	11月	世田谷文学館
	地域のまつり等との連携	地域催事(下町まつり、蘆花まつり等)と連携した催事を行う。	500人	6月、10月	世田谷文学館 ほか
活動支援・共 催事業	市民活動支援など	文学活動を中心とする区内外の団体の講座や活動を支援し、区民の生涯学習の要望に応える。	500人	通年	世田谷文学館 ほか
人材育成 プログラム	学芸員実習	学芸員後継者育成のために、博物館学実習の講義・実習を行う。(6日間)	5人以内	7月～9月	世田谷文学館
	職場体験などの受入	博物館の仕事全般を学び、事業の企画や実施にも直接携わることができるプログラムなど、中学校などの要望に応じて、職場体験を受け入れる。	30人	通年	世田谷文学館
ライブラリー の運営	ライブラリー「ほんとわ」の運営 [指定管理]	授乳室とキッズスペースを備えた子どものための本のエリアや、企画展等と関連して定期的に書籍が入れ替わる特集コーナーなどを設け、書物との新たな出会いと多様な楽しみ方を提案し、「地域のための図書空間」を企画・運営する。また、資料閲覧スペース(3階)において閉架図書の閲覧サービスを行う。	15,000人	通年	世田谷文学館
区民の表現 の場の提供	新世田谷文学賞	長らく区民より幅広く文芸作品を募集し創作活動を支えてきた「世田谷文学賞」をニーズと時代性に即して刷新し、開館30周年に合わせ「新世田谷文学賞」として再開する。小説、エッセイの散文(長文)部門と、詩、短歌、俳句の短詩部門を交互に開催。入賞作品は当館HP上で発表する。	50人	9月	世田谷文学館
文学館広報	文学館広報	新聞広告や印刷物のほか、ホームページやSNSなどのソーシャルメディアを駆使した広報活動を継続するとともに、マスコミ等の媒体への情報提供を通じて、館の活動内容について広く区民等へ発信する。	—	通年	—
	ホームページコンテンツ制作 「ほんとわラジオ」放送 文学館ニュースの発行 「セタブンパス」事業	ホームページでの動画配信や音声コンテンツ、広報番組制作の継続と合わせて、利用者の利便性向上に向けた、新たな取組みを開始する。 「文学館ニュース」を誌面とあわせてデジタル情報配信する。文学館の事業活動を広く周知するため、ホームページコンテンツの制作、文学館ゆかりのゲストを招いたトーク番組「ほんとわラジオ」の放送(特番仕様)を実施する。 利用者サービスの充実を目的とする「セタブンパス」事業を継続実施する。	放送4回 10,000部	通年	—

(7)財団共通

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
来館者サポート		<p>様々な状況にあるお客様の参加機会を増やすために、公演などにおいて来館者サポートを行う。</p> <p>生活工房</p> <ul style="list-style-type: none"> ①車椅子の貸出 ②手話通訳の配置(随時) ③視覚・聴覚障害者等と共に映像を鑑賞するワークショップの実施・記録音声の公開 ④授乳室の利用など 			
	来館者サポート	<p>世田谷パブリックシアター</p> <ul style="list-style-type: none"> ①託児サービス ②車椅子サービス(貸出、スペースの確保、車椅子昇降機など) ③視覚障害者のための音声案内システム付き化粧室の設置 ④視覚障害者のための舞台説明会(特定の主催公演) ⑤視覚障害者のための音声ガイド(特定の主催公演) ⑥補助犬を伴っての観劇(スペースの確保など) ⑦聞こえにくい方向けのヒアリングサポートシステム(特定の主催公演) ⑧聴覚障害者のための字幕(特定の主催公演) ⑨聴覚障害者のための上演台本貸出 ⑩聴覚障害者のための手話通訳者派遣(特定の主催公演) ⑪聴覚障害者のための筆談具設置 ⑫多言語情報発信 ⑬非常時の避難方法及び広域避難場所への地図の配布など 	—	通年	—
		<p>美術館</p> <ul style="list-style-type: none"> ①講演会での手話通訳 ②車椅子の貸出 ③ベビーカーの貸出 ④授乳室の利用など 			
		<p>文学館</p> <ul style="list-style-type: none"> ①車椅子の貸出 ②ベビーカーの貸出 ③授乳室の利用 			
来館者サポート	せたがやアーツカード	<p>世田谷区民を対象とする会員制度。主に、財団主催の公演チケットの割引・先行発売や展覧会チケットの割引などの特典により、財団事業や施設利用者の拡大を図る。毎月1回、希望する会員にはメールマガジン配信による情報提供を行う。引き続き、オンライン入会申込みの利便性を周知し、会員数の増加とともに事業への参加を促す。</p>	<p>会員数 21,500人 配信者数 15,000人</p>	通年	—

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
財団広報	財団広報	財団ホームページ等により、財団及び事業内容等を紹介する。	—	通年	—
	せたがや文化・スポーツ情報ガイドの発行	財団各部の事業内容などを広く区民等に周知するため、(公財)世田谷区スポーツ振興財団と共同で毎月25日にタブロイド判の情報紙(4ページ)を発行。区報に同冊し区内施設での配架のほか、新聞(6紙)折込配布も実施する。	毎月 171,000部	通年	—
文化芸術の拠点施設の管理運営	世田谷文化生活情報センターの施設維持管理 [指定管理]	世田谷文化生活情報センター施設維持管理、主劇場、小劇場、生活工房セミナールーム、ワークショップルーム等の貸出を行う。	—	通年	世田谷文化生活情報センター
	世田谷美術館及び分館の施設維持管理 [指定管理]	世田谷美術館及び3分館(向井潤吉アトリエ館、清川泰次記念ギャラリー、宮本三郎記念美術館)の施設維持管理、区民ギャラリー及び講堂の貸出を行う。	—	通年	世田谷美術館及び分館
	世田谷文学館の施設維持管理 [指定管理]	世田谷文学館の施設維持管理、講義室の貸出を行う。	—	通年	世田谷文学館
物品販売事業	生活工房事業関連商品の販売	事業に関連するグッズ、制作物等の販売を行う。	—	適宜	世田谷文化生活情報センター
	パブリックシアター関連商品の販売	世田谷パブリックシアターとシアタートラムで上演された公演のパンフレットや映像化したDVD等の関連商品を、劇場やオンラインショップにて販売する。	—	通年	世田谷文化生活情報センター
	美術館ミュージアムショップの運営	美術館・分館のミュージアムショップを運営する。収蔵作品をモチーフとしたオリジナルグッズ・絵葉書等の開発・制作及び販売、また企画展開催時における関連グッズ・絵葉書・書籍等の販売を行う。	—	通年	世田谷美術館及び分館
	文学館ミュージアムショップの運営	ミュージアムショップを運営する。オリジナルグッズの開発・制作及び販売、展覧会に関連した書籍や絵葉書等のグッズの販売を行う。	—	通年	世田谷文学館
飲食物提供事業	パブリックシアターのロビーカフェの運営	世田谷パブリックシアターのロビーのカフェを委託により運営する。	5,000人	通年	世田谷文化生活情報センター
	美術館のレストランの運営	世田谷美術館内のレストラン「ル・ジャルダン」を委託により運営する。	20,000人	通年	世田谷美術館
	美術館のカフェの運営	世田谷美術館内のカフェ「セタビカフェ」を委託により運営する。	30,000人	通年	世田谷美術館

収支予算書

1. 収支予算(損益計算書ベース)

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	令和7年度a	令和6年度b	増減a-b
I 一般正味財産の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,509,000	2,469,000	40,000
基本財産運用益	2,509,000	2,469,000	40,000
特定資産運用益	1,261,000	1,261,000	0
特定資産運用益	1,261,000	1,261,000	0
事業収益	1,889,210,000	1,491,292,000	397,918,000
事業運営収益	1,075,511,000	710,380,000	365,131,000
区事業等受託収益	813,699,000	780,912,000	32,787,000
受取区補助金	1,480,743,000	1,358,419,000	122,324,000
受取区補助金	1,480,743,000	1,358,419,000	122,324,000
受取助成金等	194,658,000	192,526,000	2,132,000
受取助成金等	194,658,000	192,526,000	2,132,000
受取寄附金等	850,000	1,000,000	△ 150,000
受取寄附金等	850,000	1,000,000	△ 150,000
受取負担金	15,098,000	13,654,000	1,444,000
受取負担金	15,098,000	13,654,000	1,444,000
雑収益	147,000	116,000	31,000
受取利息	147,000	116,000	31,000
経常収益計	3,584,476,000	3,060,737,000	523,739,000
(2) 経常費用			
事業費	3,504,117,000	3,109,623,000	394,494,000
給料手当等	907,186,000	909,489,000	△ 2,303,000
退職給付費用	32,156,000	24,719,000	7,437,000
交際費	407,000	553,000	△ 146,000
式典費	1,044,000	1,005,000	39,000
会議費	884,000	749,000	135,000
旅費交通費	34,103,000	27,069,000	7,034,000
通信運搬費	16,580,000	15,141,000	1,439,000
消耗経費	34,542,000	33,206,000	1,336,000
印刷製本費	68,822,000	58,014,000	10,808,000
保険料	6,043,000	5,746,000	297,000
修繕費	30,555,000	33,907,000	△ 3,352,000
光熱水費	12,967,000	12,247,000	720,000
諸謝金	57,752,000	57,117,000	635,000
支払負担金	66,977,000	51,094,000	15,883,000
委託費	965,652,000	934,365,000	31,287,000
使用料及び賃借料	62,517,000	63,100,000	△ 583,000
支払手数料	39,942,000	22,868,000	17,074,000
広報宣伝費	97,472,000	86,102,000	11,370,000
臨時雇賃金	103,799,000	104,812,000	△ 1,013,000
上演出演料	537,381,000	332,093,000	205,288,000
舞台費	289,154,000	177,945,000	111,209,000
制作企画費	68,276,000	66,485,000	1,791,000
減価償却費	48,826,000	44,001,000	4,825,000
商品仕入	20,150,000	19,470,000	680,000
租税公課	930,000	28,326,000	△ 27,396,000

(単位:円)

科 目		令和7年度a	令和6年度b	増減a-b
	管理費	154,365,000	6,577,000	147,788,000
	報酬	5,283,000	5,046,000	237,000
	給料手当等	77,036,000	539,000	76,497,000
	退職給付費用	3,132,000	13,000	3,119,000
	交際費	40,000	0	40,000
	旅費交通費	260,000	0	260,000
	通信運搬費	241,000	102,000	139,000
	消耗経費	338,000	8,000	330,000
	印刷製本費	348,000	0	348,000
	保険料	411,000	15,000	396,000
	諸謝金	320,000	0	320,000
	支払負担金	142,000	0	142,000
	委託費	21,923,000	238,000	21,685,000
	使用料及び賃借料	9,273,000	18,000	9,255,000
	支払手数料	380,000	0	380,000
	臨時雇賃金	7,762,000	0	7,762,000
	減価償却費	873,000	598,000	275,000
	租税公課	26,603,000	0	26,603,000
	経常費用計	3,658,482,000	3,116,200,000	542,282,000
	他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 74,006,000	△ 55,463,000	△ 18,543,000
	法人税、都民税及び事業税	886,577	556,949	329,628
	当期一般正味財産増減額	△ 74,892,577	△ 56,019,949	△ 18,872,628
	一般正味財産期首残高	784,837,010	769,504,279	15,332,731
	一般正味財産期末残高	709,944,433	713,484,330	△ 3,539,897
II	指定正味財産の部			
	当期指定正味財産増減額	0	0	0
	指定正味財産期首残高	808,790,978	808,172,166	618,812
	指定正味財産期末残高	808,790,978	808,172,166	618,812
III	正味財産期末残高	1,518,735,411	1,521,656,496	△ 2,921,085

※ 令和7年度一般正味財産期首残高及び指定正味財産期首残高は、令和5年度期末の実績額と令和6年度の見込額に基づいて算出しているため、本表における令和6年度一般正味財産期末残高及び指定正味財産期末残高とは一致しない。なお、令和7年度一般正味期首残高及び指定正味期首残高を令和6年度予算の一般正味期末残高及び指定正味期末残高とした表は下記の通り。

科 目		令和7年度a	令和6年度b	増減a-b
	当期一般正味財産増減額	△ 74,892,577	△ 56,019,949	△ 18,872,628
	一般正味財産期首残高	713,484,330	769,504,279	△ 56,019,949
	一般正味財産期末残高	638,591,753	713,484,330	△ 74,892,577
	当期指定正味財産増減額	0	0	0
	指定正味財産期首残高	808,172,166	808,172,166	0
	指定正味財産期末残高	808,172,166	808,172,166	0

2. 収支予算内訳表(損益計算書ベース)

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

科 目	公益目的事業会計		
	公1	公2	小計
	文化芸術の振興、地域 文化創造活動の支援 及び 教育普及に関する事業	市民活動の支援 及び 振興に関する事業	
I 一般正味財産の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	0	0
基本財産運用益	0	0	0
基本財産運用益	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0
事業収益	1,839,472,000	463,000	1,839,935,000
事業運営収益	1,025,773,000	463,000	1,026,236,000
事業運営収益	1,025,773,000	463,000	1,026,236,000
区事業等受託収益	813,699,000	0	813,699,000
指定管理受託収益	750,592,000	0	750,592,000
区事業受託収益	63,107,000	0	63,107,000
受取区補助金	1,289,476,000	53,258,000	1,342,734,000
受取区補助金	1,289,476,000	53,258,000	1,342,734,000
受取区補助金	1,289,476,000	53,258,000	1,342,734,000
受取助成金等	193,369,000	1,289,000	194,658,000
受取助成金等	193,369,000	1,289,000	194,658,000
受取助成金	193,369,000	1,289,000	194,658,000
受取寄附金等	850,000	0	850,000
受取寄附金等	850,000	0	850,000
受取寄附金	850,000	0	850,000
受取負担金	7,152,000	0	7,152,000
受取負担金	7,152,000	0	7,152,000
受取負担金	7,152,000	0	7,152,000
雑収益	0	0	0
受取利息	0	0	0
受取利息	0	0	0
経常収益計	3,330,319,000	55,010,000	3,385,329,000

(単位:円)

収益事業等会計			法人会計	内部取引等 消去	合計
収1	収2	小計			
物品販売事業	飲食物提供事業				
0	0	0	2,509,000		2,509,000
0	0	0	2,509,000		2,509,000
0	0	0	2,509,000		2,509,000
0	0	0	1,261,000		1,261,000
0	0	0	1,261,000		1,261,000
0	0	0	1,261,000		1,261,000
46,037,000	3,238,000	49,275,000	0		1,889,210,000
46,037,000	3,238,000	49,275,000	0		1,075,511,000
46,037,000	3,238,000	49,275,000	0		1,075,511,000
0	0	0	0		813,699,000
0	0	0	0		750,592,000
0	0	0	0		63,107,000
0	0	0	138,009,000		1,480,743,000
0	0	0	138,009,000		1,480,743,000
0	0	0	138,009,000		1,480,743,000
0	0	0	0		194,658,000
0	0	0	0		194,658,000
0	0	0	0		194,658,000
0	0	0	0		850,000
0	0	0	0		850,000
0	0	0	0		850,000
336,000	7,610,000	7,946,000	0		15,098,000
336,000	7,610,000	7,946,000	0		15,098,000
336,000	7,610,000	7,946,000	0		15,098,000
0	0	0	147,000		147,000
0	0	0	147,000		147,000
0	0	0	147,000		147,000
46,373,000	10,848,000	57,221,000	141,926,000		3,584,476,000

科 目		公益目的事業会計		
		公1	公2	小計
		文化芸術の振興、地域 文化創造活動の支援 及び 教育普及に関する事業	市民活動の支援 及び 振興に関する事業	
(2) 経常費用				
事業費		3,395,414,000	55,028,000	3,450,442,000
	給料手当等	872,471,000	33,304,000	905,775,000
	退職給付費用	32,156,000	0	32,156,000
	交際費	397,000	10,000	407,000
	式典費	1,044,000	0	1,044,000
	会議費	862,000	22,000	884,000
	旅費交通費	34,017,000	86,000	34,103,000
	通信運搬費	14,735,000	174,000	14,909,000
	消耗経費	31,892,000	1,568,000	33,460,000
	印刷製本費	68,371,000	51,000	68,422,000
	保険料	5,959,000	84,000	6,043,000
	修繕費	30,355,000	200,000	30,555,000
	光熱水費	4,900,000	0	4,900,000
	諸謝金	56,723,000	1,029,000	57,752,000
	支払負担金	66,967,000	10,000	66,977,000
	委託費	934,882,000	14,773,000	949,655,000
	使用料及び賃借料	58,809,000	2,139,000	60,948,000
	支払手数料	37,107,000	7,000	37,114,000
	広報宣伝費	97,192,000	280,000	97,472,000
	臨時雇賃金	102,566,000	1,233,000	103,799,000
	上演出演料	537,381,000	0	537,381,000
	舞台費	289,154,000	0	289,154,000
	制作企画費	68,276,000	0	68,276,000
	減価償却費	48,271,000	58,000	48,329,000
	商品仕入	0	0	0
	租税公課	927,000	0	927,000

(単位:円)

収益事業等会計			法人会計	内部取引等 消去	合計
収1	収2	小計			
物品販売事業	飲食物提供事業				
45,072,000	8,603,000	53,675,000			3,504,117,000
1,113,000	298,000	1,411,000			907,186,000
0	0	0			32,156,000
0	0	0			407,000
0	0	0			1,044,000
0	0	0			884,000
0	0	0			34,103,000
1,560,000	111,000	1,671,000			16,580,000
1,014,000	68,000	1,082,000			34,542,000
400,000	0	400,000			68,822,000
0	0	0			6,043,000
0	0	0			30,555,000
385,000	7,682,000	8,067,000			12,967,000
0	0	0			57,752,000
0	0	0			66,977,000
15,997,000	0	15,997,000			965,652,000
1,535,000	34,000	1,569,000			62,517,000
2,828,000	0	2,828,000			39,942,000
0	0	0			97,472,000
0	0	0			103,799,000
0	0	0			537,381,000
0	0	0			289,154,000
0	0	0			68,276,000
87,000	410,000	497,000			48,826,000
20,150,000	0	20,150,000			20,150,000
3,000	0	3,000			930,000

科 目		公益目的事業会計		
		公1	公2	小計
		文化芸術の振興、地域 文化創造活動の支援 及び 教育普及に関する事業	市民活動の支援 及び 振興に関する事業	
管理費				
	報酬			
	給料手当等			
	退職給付費用			
	交際費			
	旅費交通費			
	通信運搬費			
	消耗経費			
	印刷製本費			
	保険料			
	諸謝金			
	支払負担金			
	委託費			
	使用料及び賃借料			
	支払手数料			
	臨時雇賃金			
	減価償却費			
	租税公課			
経常費用計		3,395,414,000	55,028,000	3,450,442,000
他会計振替前当期一般正味財産増減額		△ 65,095,000	△ 18,000	△ 65,113,000
他会計振替額		590,742	0	590,742
法人税、都民税及び事業税		0	0	0
当期一般正味財産増減額		△ 64,504,258	△ 18,000	△ 64,522,258
一般正味財産期首残高		605,233,763	27,756,931	632,990,694
一般正味財産期末残高		540,729,505	27,738,931	568,468,436
II 指定正味財産の部				
	当期指定正味財産増減額	0	0	0
	指定正味財産期首残高	8,790,978	0	8,790,978
	指定正味財産期末残高	8,790,978	0	8,790,978
III 正味財産期末残高		549,520,483	27,738,931	577,259,414

(単位:円)

収益事業等会計			法人会計	内部取引等 消去	合計
収1	収2	小計			
物品販売事業	飲食物提供事業				
			154,365,000		154,365,000
			5,283,000		5,283,000
			77,036,000		77,036,000
			3,132,000		3,132,000
			40,000		40,000
			260,000		260,000
			241,000		241,000
			338,000		338,000
			348,000		348,000
			411,000		411,000
			320,000		320,000
			142,000		142,000
			21,923,000		21,923,000
			9,273,000		9,273,000
			380,000		380,000
			7,762,000		7,762,000
			873,000		873,000
			26,603,000		26,603,000
45,072,000	8,603,000	53,675,000	154,365,000		3,658,482,000
1,301,000	2,245,000	3,546,000	△ 12,439,000		△ 74,006,000
△ 216,743	△ 373,999	△ 590,742	0		0
325,277	561,300	886,577	0		886,577
758,980	1,309,701	2,068,681	△ 12,439,000		△ 74,892,577
144,386,310	17,108,450	161,494,760	△ 9,648,444		784,837,010
145,145,290	18,418,151	163,563,441	△ 22,087,444		709,944,433
0	0	0	0		0
0	0	0	800,000,000		808,790,978
0	0	0	800,000,000		808,790,978
145,145,290	18,418,151	163,563,441	777,912,556		1,518,735,411

その他の付属書類

資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(1) 資金調達の見込みについて

借入の予定		あり	○	なし
事業番号	借入先	金額	用途	

(2) 設備投資の見込みについて

設備投資の予定		あり	○	なし
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の 予定額	資金調達方法 又は取得資金の用途	

令和7(2025)年3月27日発行

公益財団法人 せたがや文化財団

〒154-0004

東京都世田谷区太子堂 4-1-1 キャロットタワー5F

TEL 03-5432-1501 FAX 03-5432-1559

MAIL jimukyoku@setagaya-ac.net

URL <https://www.setagaya-bunka.jp>

*この冊子はリサイクルできます

せたがや文化財団 役員名簿

役員／評議員

役員名簿(令和6年4月1日現在)

【理事：11名・監事：2名】 任期：[理事]令和5年6月15日から令和7年度定時評議員会の終結の時まで [監事]令和5年6月15日から令和9年度定時評議員会の終結の時まで

役職名	氏名	備考
理事長	青柳 正規	公益財団法人せたがや文化財団理事長
常務理事	高萩 宏	世田谷文化生活情報センター館長
常務理事	橋本 善八	世田谷美術館館長
常務理事	亀山 郁夫	世田谷文学館館長
常務理事	志賀 毅一	公益財団法人せたがや文化財団事務局長
理事	熊谷 吏夏	弁護士
理事	桑島 俊彦	東京都商店街振興組合連合会理事・最高顧問
理事	鴻巣 友季子	文芸評論家、大学講師
理事	武濤 京子	昭和音楽大学名誉教授・客員教授
理事	名児耶 明	筆の里工房副館長
理事	板東 久美子	日本赤十字社常任理事
監事	大澤 正文	世田谷区会計管理者
監事	山本 嶋子	公認会計士